

森林整備保全事業設計標準歩掛（公表版）

平成22年4月

（平成22年4月1日以降執行伺い決裁分から適用）

鹿児島県環境林務部

森林整備保全事業設計標準歩掛の留意事項

※ 本県では、すべての工種において山林砂防工を適用しないものとする。

第1編 共通工

第1 土 工

1-2 伐開・除根

1-2-1 伐開・除根

(3) チェンソー伐開歩掛 <国必携P-106>

(1,000m²当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量			摘 要
			易	中	難	
世 話 役		人	0.08	0.10	0.12	
普 通 作 業 員		人	3.20	4.00	4.80	
特 殊 作 業 員		人	0.80	1.00	1.20	
機 械 損 料	チェンソー鋸長500mm	日	0.80	1.00	1.20	
燃 料 費	混合油25:1	L	2.88	3.60	4.32	
チェーンオイル	生分解or鉱物	L	0.08	0.10	0.12	#80専用オイル

備考1 20m以内の片付を含む。

2 「易、中、難」の区分は、樹幹疎密度の「疎、中、密」を適用する。

1-3 人力切崩し及び積込

(3) 施工歩掛 <国必携P-111>

1) 人力切崩し歩掛

備考 3 山腹工法切部分の施工については、「治山編3-2 人力法切工を適用する。」

1-4 埋戻工

1-4-2 盛土法面仕上 <県独自>

(10m²当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量
タ ン パ 搦 固 め	60~80kg	m ²	3.00

※ 10m²当たり 10.0m²×0.3m=3.0m³ (タンパ搦固め 厚0.3m標準)

1-4-3 機械敷均し <県独自> <国必携P-744準用>

(100m²当たり)

名 称・規 格	単 位	数 量
ブルドーザ 15 t	h	0.76

※仕上がり厚さ=1.0m

$$Q=10E \times (13D+9)$$

$$=10 \times 0.6 \times (13 \times 1.0 + 9) = 132 \text{ m}^3/\text{h}$$

$$100 \div 132 = 0.76 \text{ h}$$

第2 運搬工

2-11 伐根運搬

<県独自歩掛>

ダンプトラックの積載量は下表のとおりとする。

車 種	1台当たりのt換算値	1台当たりのm ³ 換算値
10 t車	3.00 t	5.50 m ³
4 t車	1.20 t	2.20 m ³

備考 1 「根株の運搬における積載量について」平成17年4月18日付を参照

2 枝条のみの運搬を行う場合は別途考慮する。

- 3 運搬に要する時間にダンプトラック時間当たり運転費を乗じた額を所要台数分計上する。
- 4 運転に要する時間は、 $C_m = \beta L + \alpha$ で算定する。
 C_m ：サイクルタイム(分)
 β ：運搬状況による係数 <国必携P-162>
 L ：運搬距離(km：片道平均)
 α ：積み込み等その他の作業による係数(分)
- 5 運搬は10 t ダンプトラック、積込はバックホウ (0.6m³) を標準とする。

第4 共通工 (1) (溝渠工・法枠工等)

4-1 溝渠工 (水路工)

4-1-4 U型側溝等 (一部県独自) <国必携P-194>

(1) U型側溝

U型側溝 (鉄筋コンクリートベンチフリュームを含む) 据付歩掛

(10m当たり)

1個当たり長さ (mm)	600			1,000			2,000							
	50kg 以下	50以上 80以下	80を超え 300以下	50以上 80以下	80を超え 350以下	350を超え 550以下	80を超え 250以下	250を超え 600以下	600を超え 1000以下	1000を超え 1500以下	1500を超え 2000以下	2000を超え 2500以下	2500を超え	
名称	単位													
世話役	人	0.2	0.4	(0.8) 0.4	0.3	(0.5) 0.3	(0.7) 0.4	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	0.4	0.4
特殊作業員	"	0.2	0.4	(0.8) 0.4	0.3	(0.5) 0.3	(0.7) 0.4	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	0.4	0.4
普通作業員	"	0.6	0.8	(2.5) 1.1	1.1	(1.6) 0.7	(2.0) 1.1	0.4	0.5	0.8	0.8	1.1	1.1	1.4
トラッククレーン運転	日	—	—	0.2	—	0.3	0.4	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	0.4	0.4
諸雑費率	%	2						4						

- 備考 1 歩掛は、運搬距離30m程度までの小運搬を含む据付作業であり床掘、基礎 (敷コンクリート、基礎砕石) 及び埋戻しは含まない。
- 2 トラッククレーンは賃料とし、規格は「4-1-3機種の選定」による。
- 3 蓋板については、別途必要量を計上する。
- 4 敷モルタル及び敷砂は別途計上する。
- 5 架設に使用する場合は、上表歩掛を適用する。
- 6 撤去歩掛は据付歩掛の50%とする。
- 7 諸雑費は、コンクリートカッター運転、目地モルタル、U型側溝損失分の費用及びコンクリートカッターブレードの損耗費であり、労務費、トラッククレーン賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
- 8 2段書きの () は人力布設の場合に適用する。
- 9 ※トラフの本数は、9.95本 (L=1.0m)、4.98本 (L=2.0m) とする。

(4) 自由勾配側溝 <県独自>

自由勾配側溝（プレキャスト）据付歩掛は、次表とする。

なお、自由勾配側溝とは、底部のない側溝で据付後に現場条件に適合した勾配に底部コンクリートを打設する方式の側溝である。

自由勾配側溝据付歩掛

(10m当たり)

1個当たり長さ (mm)	2,000	
1個当たり重量 (kg/個)	200以上3,000以下	
名 称	単 位	
世 話 役	人	0.30
特 殊 作 業 員	人	0.30
普 通 作 業 員	人	1.00
トラッククレーン運転	日	0.30
諸 雑 費 率	%	1

備考1 歩掛は、運搬距離30m程度の小運搬を含む据付作業であり、床掘、基礎（敷コンクリート、基礎碎石）、巻コンクリート、埋戻しは含まない。

2 トラッククレーンは賃料とする。

3 底部コンクリートは、別途必要量計上する。また、底部コンクリート打設は「第3コンクリート工」による。なお、打設については人力打設の小型構造物とする。

4 諸雑費は、目地モルタル、自由勾配側溝損失分、コンクリートカッター運転及びコンクリートカッターブレード損耗費の費用であり、労務費及びトラッククレーン賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

4-1-5 L型側溝等 <一部県独自> <国必携P-196>

L型側溝据付歩掛

(10m当たり)

製 品 名	長 (m)	単 位	0.6m/個 <県独自>	1.0m/個 <県独自>	
				100kg未満	質量100kg以上~220kg未満
世 話 役		人	0.3	0.2	(0.5) 0.3
特 殊 作 業 員		人	0.1	0.2	(0.5) 0.3
普 通 作 業 員		人	0.9	0.7	(1.6) 0.7
基 礎 碎 石 費 率		%	22	—	—
トラッククレーン賃料		日	—	—	0.2
諸 雑 費 率		%	12	3	

備考1 歩掛は、運搬距離30m程度までの小運搬を含むものであり、床掘、埋戻し、残土処理は含まない。

2 トラッククレーンの規格は「4-1-3機種の選定」による。

3 基礎碎石費、諸雑費は、労務費とトラッククレーン運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。ただし、諸雑費として計上する金額は上限値とする。なお、基礎碎石費及び諸雑費に含まれる内容は次のとおりである。

[基礎碎石費]

敷設・転圧労務、材料投入・締固め機械運転経費、碎石等材料費

[諸 雑 費]

コンクリートカッター運転、目地モルタル、敷モルタル、L型側溝損失分の費用、コンクリートカッターブレードの損耗費等

- 4 基礎碎石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難しい場合は別途計上する。
- 5 基礎碎石費は、材料の種別・規格に関わらず適用できる。
- 6 撤去歩掛は据付歩掛(基礎碎石率を除く)の50%とする。
- 7 二段書きの()書きは人力布設の場合に適用する。

4-1-6 ヒューム管

(2) ヒューム管用巻きコンクリート <一部県独自> <国必携P-198>

ヒューム管用巻きコンクリート施工歩掛

(10m³当たり)

管 径 (m)			150	200	250	400	450	700	800	1100
名 称	単位		300	350	500	600	900	1000	1350	1200
世 話 役	人		3.0	2.6	2.1		1.7		1.6	
特 殊 作 業 員	人		1.0	1.0	1.0		1.0		1.0	
普 通 作 業 員	人		9.9	8.8	7.3		5.9		5.6	
型 枠 工	人		8.0	6.7	4.8		3.5		2.8	
コンクリート	m ³		10.6							
基礎 碎石 比率	90° 巻き	%	40	36	27		24		22	
	120° 巻き	%	-	32	24		21		19	
	180° 巻き	%	27	24	19		16		15	
	360° 巻き	%	13	13	10		9		-	
諸 雑 費 率	%	12								

<県独自歩掛>

- 備考1 上表の労務歩掛は、型枠製作設置・撤去、コンクリート打設・養生等を含むものである。
- 2 コンクリートの補正係数は、+0.06として上表に含めてある。
- 3 基礎碎石費、諸雑費は、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。ただし、諸雑費として計上する金額は、上限値とする。なお、基礎碎石費及び諸雑費に含まれる内容は次のとおりである。
- [基礎碎石費] 敷設・転圧労務、材料投入・締固め機械運転経費、碎石等材料費
- [諸 雑 費] 電力に関する経費、型枠持上(下)機械運転経費、シュート・ホッパ・バイブレータ・電気ドリル・電気ノコギリ等損料、養生材・型砕材・組立支持材・剥離材等の材料費
- 4 養生は、養生材の被覆、散水養生、被膜養生程度のものであり、保温養生等の特別な養生を必要とする場合は諸雑費率から5%減ずるものとし、養生費を「3-1 コンクリート工」により別途計上する。
- 5 基礎碎石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難しい場合は別途計上する。
- 6 基礎碎石費は、材料の種別・規格に関わらず適用できる。
- 7 コンクリート打設において、人力運搬車による小運搬作業を必要とする場合は、小運搬距離15m以下で、普通作業員1.3人/10m³を加算する。
- 8 本歩掛には、型枠施工時の剥離材塗布及びケレン作業を含む。
- 9 鉄筋工は、「3-4 鉄筋加工・組立歩掛」により別途計上する。
- 10 120° 巻きの基礎碎石率は県独自の数値である。

4-1-16 コルゲート半円管水路工布設歩掛 〈県独自〉

(10m当たり)

直径 (mm)	板厚 (mm)	布設歩掛(人)	直径 (mm)	板厚 (mm)	布設歩掛(人)
400	1.6	0.77	1,350	2.7	2.83
400	2.0	0.84	1,350	3.2	3.42
600	1.6	1.00	1,500	2.7	3.84
600	2.0	1.09	1,500	3.2	3.96
800	1.6	1.28	1,650	2.7	4.42
800	2.0	1.39	1,650	3.2	5.20
800	2.7	1.46	1,800	3.2	5.73
1,000	2.0	1.84			
1,000	2.7	1.91			
1,200	2.0	2.34			
1,200	2.7	2.51			

- 備考1 床掘, 基礎処理, 埋戻し等は含まない。
 2 必要に応じて杭木を加算する。
 3 裏込礫は別途計上する。

4-1-17 水路ショルダー布設歩掛 〈県独自〉

水路ショルダー 10m当たり単価表			
名 称	数 量		備 考
	両 側	片 側	
水路ショルダー	32.80	16.40	
普通作業員	1.00	0.50	
諸 雑 費	1.00	1.00	上記労力の1%

備考 布設手間, 間詰手間, 現場小運搬20m程度を含む据付作業である。

4-1-18 張芝水路工歩掛 〈県独自〉

(100m当たり)

名 称	規 格	形 状		摘 要
		0.6×1.0×0.3	1.0×1.24×0.3	
野 芝	30cm×30cm	(1,210枚) 108.9m ²	(1,500枚) 135m ²	
目 串		60.5束	75.0束	1枚当たり5本使用
普通作業員		10.90人	13.50人	法拵・芝付・材料小運搬

4-1-19 植生袋水路工歩掛 〈県独自〉

(100m当たり)

名 称	形状・寸法	数 量	単 位	備 考
植 生 袋	0.6m×0.4m	990.00	枚	
普通作業員		11.88	人	袋詰10袋当たり0.12人
普通作業員		8.91	人	小運搬・床拵積立一切 10袋当たり0.09人

4-1-20 トラフ付土塁工布設歩掛 〈県独自〉

(100m当たり)

種 類 区 分	鍵型トラフ付土塁工 (300)	L型トラフ付土塁工 (300)	摘 要
野 芝	143.55㎡(1,595枚)	143.55㎡(1,595枚)	30cm×30cm
目 串	49.5束	49.5束	
普通作業員	1.20人	0.66人	切取
普通作業員	4.80人	5.61人	盛土・小運搬
普通作業員	11.23人	11.23人	張芝・土羽打
世 話 役	0.54人	0.54人	張芝・土羽打
L型トラフ	100.00m	100.00m	L型トラフ：99.5本
布 設 手 間	世 話 役	2.00人	2.00人
	特殊作業員	2.00人	2.00人
	普通作業員	7.00人	7.00人
	諸 雑 費	3.00%	3.00%

4-1-21 普通土塁工布設歩掛 〈県独自〉

(100m当たり)

名 称	形状・寸法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
張 芝	30×30	188.1(2,090)	㎡(枚)			
目 串		82.5	束			
普通作業員		1.01	人			切取
普通作業員		5.30	人			盛土
普通作業員		15.81	人			張芝
世 話 役		0.66	人			土羽打

4-1-22 張芝(野芝)水路用歩掛 〈県独自〉

(10m当たり)

名 称	規 格	単 位	片 側	両 側
野 芝	0.3×0.3m	㎡	3.00	6.00
目 串	100本1束 7mm×150mm	束	1.65	3.30
普通作業員		人	0.20	0.40

備考 山腹内枝水路の設置において、布設勾配30% (約16度) 未満の箇所に適用する。

4-1-23 鋼板設置歩掛 〈県独自〉

施工単価コード SK40242

(1) 適用範囲

本歩掛は、法枠工の枠内水路工並びにコンクリート二次製品水路工等の跳水防止用の鋼板設置に適用する。

(2) 鋼板設置歩掛

(1枚当たり)

名 称	単 位	数 量	備 考
一般世話役	人	0.04	
普通作業員	人	0.07	
諸 雑 費	%	10	
計			

備考 諸雑費は、穿孔機械等の費用とし、労務費の合計額に上表の率を乗じて得た金額を上限として計上する。

(3) 1.0枚当たり単価表

名 称	規 格 (mm)	単 位	数 量	備 考
鋼 板 (t=1.6mm)	W=700, L=1,500 W=900, L=1,500	枚	1.00	
コンクリートアンカー	D=12, L=100	本	8.00	
一 般 世 話 役		人	0.04	
普 通 作 業 員		人	0.07	
諸 雑 費		%	10	
計				

4-2 法枠工

4-2-5 現場吹付法枠工 (参考歩掛) <国必携P-240>

(1) 適用範囲 <一部県独自>

この歩掛は、命綱を用いて自由に変形可能な型枠鉄筋のプレハブ部材を地山等に設置し、そのプレハブ部材内にモルタルまたはコンクリート類を吹き付けて法枠構造をつくる工法で、次表の場合に適用する。

※(第9 市場単価)の吹付枠工、法面工(枠内吹付工)を適用する。市場単価が適用できない現場においては本歩掛を適用する。

(4) 施工歩掛

5) ラス張工 <一部県独自> <国必携P-243>

ラス張工歩掛

(100㎡当たり)

名 称	単 位	数 量	摘 要
世 話 役	人	0.7	
法 面 工	人	2.2	
普 通 作 業 員	人	0.9	
発動発電機運転	日	0.6	
諸 雑 費 率	%	13	

備考1 諸雑費はハンマドリル損料、ハンマドリル刃損耗の費用であり、労務費、賃料、機械運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

2 法面の土質が軟らかく、アンカーピンが人力で施工できる法面等の場合には、法面工を1.8人/100㎡、発動発電機を0.6日/100㎡減じることができる。

3 ラス張材料は、次表を標準とする。ただし、枠内吹付が植生基材の場合、スペーサは必要に応じ計上する。

(100㎡当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
金 網	2.0×50×50	㎡	140 (120)	補正を含む
アンカーピン	径16mm L=400	本	30	
補助アンカーピン	径9mm L=200	本	150	
ス ペ ー サ		本	180	

備考 ()書きは、道路改良工事等で整形された法面箇所等金網のロスが少ないと考えられる場合に適用する。

10) 法枠水路工

法枠水路工歩掛

(10m当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量				摘 要
			F200		F300		
			6分	7分以上	6・7分	8分~1割	
ユニット式フォーム		m	23.00		23.00		
吹付法枠組立・据付		m	20.00		20.00		
アンカー工		本	10.00		10.00		
法枠吹付工 モルタル吹付		m ³	1.10		2.25		
人力切崩		m ³	1.70		2.70		
菱形金網(亜鉛メッキ)	2.0×50×50	m ²	3.60		3.60		
鉄 筋	D-19mm	kg			18.00	18.00	
	D-16mm	kg	11.70	11.70	159.71		
	D-13mm	kg	100.12			101.86	
	D-10mm	kg		56.35			

備考 揚水ポンプは必要に応じて計上する。

11) 吹付法枠工設置工(掘込みF-200)

<一部県独自>

(10m²当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
ユニット式フォーム	F200	m	11.89	
吹付枠工組立・据付	200mm	m	10.34	
アンカー工		本	9.03	
法枠吹付工		m ³	0.43	
普通作業員		人	0.05	溝掘り
鉄 筋	10mm	kg	29.47	連結鉄筋
鉄 筋	16mm	kg	3.75	主アンカー
鉄 筋	10mm	kg	1.30	補助アンカー
計				

12) 現場打法枠工ネット張工

<一部県独自>

(100m²当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
植生ネット	20×25mm	m ²	120.00	
アンカーピン	9×200mm	本	290.00	
傘付鉄釘	D=5mm L=150mm	本	290.00	
一般世話役		人	0.40	
法面工		人	1.00	
普通作業員		人	0.60	
諸雑費		%	6.00	
計				

備考 植生ネット及び労務費は4-6植生ネット工を参照する。

4-3 モルタル・コンクリート吹付工 (市場単価適用範囲外に使用する)

4-3-1 モルタル吹付工

(3) 施工歩掛 <一部県独自> <国必携P-253>

法面の土質が軟らかく、アンカーピンが人力で施工できる法面等の場合には法面工を1.8人/100㎡、発動発電機を0.6日/100㎡減じることができる。

(5) 材料の使用量 <一部県独自> <国必携P-254>

ラス金網及び吹付材料の使用量は、次式による。

$$\text{使用量} = \text{設計量} \times (1 + K) \quad K: \text{補正係数}$$

補正係数 (K)

名称	規格	補正係数	摘要
金網	2.0-50×50	+0.40 (+0.20)	吹付面積100㎡当たり140㎡(120㎡)
吹付材料		+0.27	はね返り損失及び混合の損失を含む

注 () 書きは、道路改良工事で整形された法面箇所等、金網のロスが少ないと考えられる場合に適用する。

(参考) モルタル吹付材料表 (100㎡当たり)

吹付区分	材料区分	単位	吹付厚						摘要
			5 cm	6 cm	7 cm	8 cm	9 cm	10 cm	
吹モルタル付	セメント	t	2.667	3.200	3.734	4.267	4.801	5.334	
	砂	m ³	7.87	9.45	11.02	12.60	14.17	15.75	

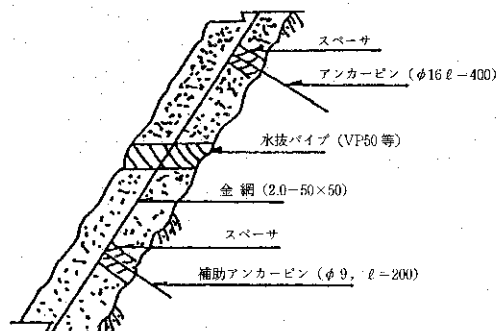
備考 材料配合量は、下記による。(100㎡当たり)

(モルタル吹付)

$$\text{セメント} = 420\text{kg/m}^3 \times \text{厚さ(m)} \times 100\text{m}^2 \times (1 + 0.27)$$

$$\text{砂} = (1,680\text{kg/m}^3 \div 1,350\text{kg/m}^3) \times \text{厚さ(m)} \times 100\text{m}^2 \times (1 + 0.27)$$

[参考図]



4-3-1(1) モルタル吹付工（金網なし）〈県独自〉

※ この歩掛は、吹付法枠工施工地の小段のモルタル吹付工部分に使用する。

名 称	単 位	数 量	
		吹付厚 5～7 cm	吹付厚 8～10cm
土 木 一 般 世 話 役	人	1.4	1.7
法 面 工	人	4.5	5.5
特 殊 作 業 員	人	1.6	2.1
普 通 作 業 員	人	2.4	3.1
モルタルコンクリート吹付機運転	h	5.4	6.7
空 気 圧 縮 機 運 転	日	1.2	1.4
発 動 発 電 機 運 転	日	0.8	1.0
計 量 器 損 料	日	0.8	1.0
ベルトコンベア損料	日	1.6	2.0
揚 水 ポ ン プ 損 料	日	0.8	1.0
諸 雑 費 率	%	8	8

- 備考1 上記歩掛は、モルタル吹付歩掛からラス張歩掛（現場吹付法枠工）を引いたものである。
 2 諸雑費率については、アンカーピン、スペーサ等の経費を引いたものである。
 3 その他については、「4-3-1 モルタル吹付工」に準ずる。

4-3-2 コンクリート吹付工

(3) 施工歩掛 〈一部県独自〉 〈国必携P-256〉

コンクリート吹付工（法面清掃、ラス張、コンクリート吹付）の歩掛は次表とする。

※ ただし、下記歩掛には補強鉄筋の材料費及び施工手間は含まれてないため、鉄筋組立歩掛 **SK30303** を別途計上する。なお、材料割増は+0.17とする。

(吹付面積100㎡当たり)

名 称	単 位	数 量		
		吹付厚10cm	吹付厚15cm	吹付厚20cm
世 話 役	人	2.4	3.0	3.6
法 面 工	人	7.7	9.5	11.4
特 殊 作 業 員	人	2.1	3.0	3.9
普 通 作 業 員	人	4.0	5.1	6.3
モルタルコンクリート吹付機運転	h	6.7	10.1	13.4
空 気 圧 縮 機 運 転	日	1.4	1.9	2.4
発 動 発 電 機 運 転	日	1.6	2.1	2.6
計 量 器 損 料	日	1.0	1.5	2.0
ベルトコンベア損料	日	3.0	4.5	6.0
揚 水 ポ ン プ 損 料	日	1.0	1.5	2.0
諸 雑 費 率	%	11	10	8

- 備考1 本表は、仮設ロープにより施工する場合の歩掛である。
 2 本歩掛にはモルタルコンクリート吹付機、空気圧縮機、ベルトコンベア等の据付撤去及び吹付材料の現場内小運搬を含む。
 3 空気圧縮機及び発動発電機は賃料とする。
 4 目地が必要な場合は、材料のみ別途計上する。
 5 諸雑費は法面清掃残土処理（積込、運搬）、ハンマドリル損料、送水ポンプ損料、吹付機のホース及び仮設ロープ損料、水槽損料、骨材ホップ損料、水抜パイプ、スペーサ、アンカーピン等の費用として、労務費、機械損料、賃料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
 6 個々に計上する場合は、現場吹付法枠工の法面清掃工、ラス張工、枠内モルタル吹付工により計上する。

7. 法面の土質が軟らかく、アンカーピンが人力で施工できる法面等の場合には、法面工を1.8人/100㎡、発動発電機運転を0.6日/100㎡減じることができる。

(5) 材料の使用量 <一部県独自> <国必携P-257>

ラス金網及び吹付材料の使用量は、次式による。

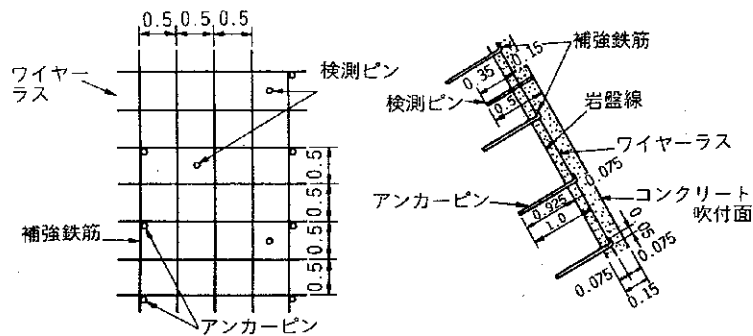
$$\text{使用量} = \text{設計量} \times (1 + K) \quad K: \text{補正係数}$$

補正係数 (K)

名称	規格	補正係数	摘要
金網	2.0-50×50	+0.40 (+0.20)	吹付面積100㎡当たり140㎡(120㎡)
吹付材料		+0.22	はね返り損失及び混合の損失を合む

注 () 書きは、道路改良工事で整形された法面箇所等、金網のロスが少ないと考えられる場合に適用する。

[参考図]



(参考) コンクリート吹付材料表 (100㎡当たり)

吹付区分	材料区分	単位	吹付厚			摘要
			10cm	15cm	20cm	
コンクリート	セメント	t	4.392	6.588	8.784	
	砂	m ³	13.05	19.58	26.11	
吹付	砕石	m ³	3.05	4.58	6.10	

備考 材料配合量は、下記による。(100㎡当たり)

(コンクリート吹付工)

$$\text{セメント} = 360\text{kg/m}^3 \times \text{厚さ(m)} \times 100\text{m}^2 \times (1+0.22)$$

$$\text{砂} = (1,440\text{kg/m}^3 \div 1,350\text{kg/m}^3) \times \text{厚さ(m)} \times 100\text{m}^2 \times (1+0.22)$$

$$\text{砕石} = 0.25\text{m}^3 \times \text{厚さ(m)} \times 100\text{m}^2 \times (1+0.22)$$

4-3-3 特殊配合モルタル吹付工A

種子吹付材料（特殊配合モルタルA用）

種子：6種， 0.77kg/100m² (100m²当たり)

名 称	単 位	数 量	摘 要
クリーピングレッドフェスク	kg	0.31	
ケンタッキーブルーグラス	kg	0.09	
ホワイトクローバー	kg	0.12	
バミューダグラス	kg	0.04	
よ も ぎ	kg	0.02	
め ど は ぎ	kg	0.19	
肥料 高度化成	kg	15.00	
肥料（バーディグリーン）	kg	5.00	
緑化基材（ベントナイト）	kg	10.00	
被覆材（グリーンマット）	kg	15.00	
安定剤（クリコート）	kg	0.10	
土壌基材（みのり有機）	kg	20.00	

4-3-5 特殊配合モルタル吹付工C

(2) 施工歩掛 〈一部県独自〉

〈国必携P-264〉

(100m²当たり)

名 称	単 位	数 量			摘 要
		4 cm	6 cm	8 cm	
世 話 役	人	2.3 (2.1)	2.6 (2.4)	2.8 (2.6)	
法 面 工	人	6.4 (6.0)	6.9 (6.5)	7.4 (7.0)	
特 殊 作 業 員	人	2.4 (2.0)	2.9 (2.5)	3.4 (3.0)	
普 通 作 業 員	人	4.5 (4.1)	5.0 (4.6)	5.5 (5.1)	
金 網	m ²	140.0			
アンカーボルト	本	30.0			φ 16mm×400mm
補助アンカーボルト	本	150.0			φ 9mm×200mm
モルタルコンクリート吹付機運転	h	8.0 (6.7)	9.7 (8.4)	11.4 (10.1)	
空気圧縮機運転	日	1.7 (1.5)	2.0 (1.8)	2.2 (2.0)	
発動発電機運転	日	1.8 (1.6)	2.1 (1.9)	2.3 (2.1)	
ベルトコンベア損料	日	1.4 (1.0)	1.7 (1.3)	1.9 (1.5)	
小型ポンプ損料	日	1.2 (1.0)	1.5 (1.3)	1.7 (1.5)	揚水用， φ 50mm
計 量 器 損 料	日	1.2 (1.0)	1.5 (1.3)	1.7 (1.5)	
諸 雑 費 率	%	5.0			労務費に対する率

備考1 「4-3-3 特殊配合モルタル吹付工A (2) 施工歩掛」の備考1及び3～6を準用する。

2 吹付は2回とし，1回目は亀裂への充填吹き，2回目は表面吹きとする。本表の数量欄は2回目の吹付量による区分であり，1回目及び2回目の合計数量を示すものである。

3 モルタルコンクリート吹付機，ベルトコンベア，ポンプ発動発電機は，空気圧縮機と同一人が運転するものとし，労務費は計上しない。

4 法面整形後の斜面に本歩掛を適用する場合は，100m²当たり世話役0.2人，法面工0.6人及び普通作業員0.2人を減じた数量を計上する。

5 本歩掛には，法面清掃，金網張を含む。

6 ラス張が不要な場合は，世話役0.6人，法面工2.2人及び普通作業員1.2人と発動発電機0.6日を減じた数量を計上する。

7 () 書きは，1回吹付を行わない場合に適用する。

4-4 植生基材吹付工（市場単価適用範囲外に使用する）

4-4-1 植生基材吹付工・特殊植生材吹付工

2) 混合種子 〈県独自〉

(10m³当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
クリーピングレッドフェスク		kg	0.41	
バミューダグラス		kg	0.11	
ホワイトクローバー		kg	0.23	
よ も ぎ		kg	0.28	
め ど は ぎ		kg	1.25	
や ま は ぎ		kg	2.46	
計			4.74	

3) 基盤材 植生基材吹付標準配合 〈県独自〉

(1 m²当たり)

材 料	数 量	単 位	備 考
有機質系植物育成基盤材	1950	L	
接 合 剤	4.0～6.0	kg	
肥料（高度化成）	4.0～6.5	kg	
肥料（ハイコントロール）	4.0～6.0	kg	

4-4-2 客土吹付工・特殊植生材客土吹付工

客土吹付標準配合 〈県独自〉

(10m³当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
クリーピングレッドフェスク		kg	0.41	
バミューダグラス		kg	0.11	
ホワイトクローバー		kg	0.23	
よ も ぎ		kg	0.28	
め ど は ぎ		kg	1.25	
や ま は ぎ		kg	2.46	
計			4.74	

基盤材 客土吹付標準配合 〈県独自〉

(1 m²当たり)

材 料	数 量	単 位	備 考
有機質系植物育成基盤材	950	L	
接 合 剤	4.0～6.0	kg	
肥料（高度化成）	4.0～6.5	kg	
肥料（ハイコントロール）	4.0～6.0	kg	

4-4-3 客土吹付特殊工

客土吹付特殊工標準配合 〈県独自〉

(0.77kg/10m²当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
クリーピングレッドフェスク		kg	0.31	
バミューダグラス		kg	0.09	
ホワイトクローバー		kg	0.12	
バミューダグラス		kg	0.04	
よ も ぎ		kg	0.02	
め ど は ぎ		kg	0.19	
計			0.77	

4-4-4 木材チップ法面吹付工 〈県独自歩掛〉

(1) 適用範囲

本歩掛は、法面保護工のうち未分解の木材チップ（種子、肥料、接合剤等を含む）をモルタル吹付機で吹付ける工法に適用する。

(2) 機種を選定

区分	機 械 名	規 格	台数	摘 要
吹付	モルタルコンクリート吹付機	湿式 0.8～1.2 m ³ /h	1	ホッパを含む
	空気圧縮機	可搬式 18～19 m ³ /min, 140kW	1	
	発動発電機	ディーゼルエンジン駆動, 45kVA	1	
	ホイールローダ	0.34 m ³	1	
	グラウトポンプ	@30～70L/min	1	添加剤吹付用
	グラウトミキサ	上下2槽式 200×2L	1	添加剤吹付用
木材	木材破砕機	自走式 130～150kW	1	7 m ³ /h(2次破砕迄)
	クローフォーク付バックホウ	掴み装置(0.7m級), BH0.45 m ³	1	
破砕	根株破砕アタッチメント付バックホウ	BH0.8 m ³	1	必要に応じて計上
積込 運搬	バックホウ	BH0.8 m ³	1	必要に応じて計上
	ダンプトラック	10 t	1	必要に応じて計上

(3) 加算率

区 分		木材チップ法面緑化工	
加 算 率	施 工 規 模	1, 0 0 0 m ² 以上	0 %
		5 0 0 m ² 以上 1, 0 0 0 m ² 未満	5 %
		5 0 0 m ² 未満	1 0 %

(4) 補正係数

法面の直高が、40mを超え80m以下の区域は、10%の補正を行う。

(5) 編成人員（1日当たり）

名 称	世話役	法面工	特殊作業員	普通作業員	計
編成人員	1人	3人	2人	2人	8人

(6) 日当たり施工量 (D)

吹付厚さ	数量	単位	備考
3 cm 以下	2 2 0	m ²	
4 cm 以上 6 cm 未満	1 8 0	m ²	
6 cm 以上 8 cm 以下	1 4 0	m ²	

(7) 諸雑費

諸雑費は、揚水ポンプ、ベルトコンベア損料（ポータブル7m）、吹付機のホース及び仮設ロープ等の費用であり、労務費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

諸 雑 費 率	4 %
---------	-----

(8) ラス張工

ラス張工については、市場単価により必要に応じて計上する。なお、加算率・補正係数も同様とする。

(9) 材料使用量

吹付材料（木材チップ）の使用量は、次式による。

使用量＝設計量×（1＋K） K：補正係数

補正係数	+ 0 . 3
------	---------

(10) 種子配合

植生基材吹付工の種子配合を標準とする。ただし、現地の状況等を十分判断して、これにより難しい場合は別途考慮する。

(11) 肥料・結合剤等

採用する工法の配合とする。

(12) 根株破碎処理

根株が大きく、直接木材破碎機への投入が困難な場合は根株破碎工を別途計上する。

(13) 木材チップ積込運搬

木材チップ貯留箇所と吹付機械設置箇所が異なる場合は、積込運搬工を別途計上する。

(14) 木材チップ法面吹付工

名 称	単 位	摘 要
木材チップ吹付工	m ²	1)単価表参照
根 株 破 碎 工	m ³	小割りの必要量に応じて計上
木材チップ積込運搬工	m ³	運搬数量 = 吹付面積×m ² 当たりチップ数量×1.5 6)単価表参照(必要に応じて計上)
計		

(15) 単価表

1) 木材チップ吹付工 単価表

(100㎡当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人	1×100÷(D)	4-4-4(5), (6)
法 面 工		人	3×100÷(D)	4-4-4(5), (6)
特 殊 作 業 員		人	2×100÷(D)	4-4-4(5), (6)
普 通 作 業 員		人	2×100÷(D)	4-4-4(5), (6)
木材チップ吹付材料	チップ, 肥料, 接合剤等を含む	㎡	厚さ×1.3×100	2) 単価表参照
種 子	混合種子	㎡	厚さ×1.3×100	
モルタルコンクリート吹付機運転	湿式0.8~1.2㎡/h	日	100÷(D)	4-4-4(6)
空気圧縮機運転	可搬式エンジン18.0~19.0㎡/min	日	100÷(D)	4-4-4(6)
発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動 45kVA	日	100÷(D)	4-4-4(6)
グラウトポンプ運転	@30~70L/min	日	100÷(D)	4-4-4(6)
グラウトミキサ運転	上下2槽式 200×2L	日	100÷(D)	4-4-4(6)
ホイールローター運転	0.34㎡	日	100÷(D)	4-4-4(6)
諸 雑 費		%		4-4-4(7)
計				

2) 木材チップ吹付材料 単価表

(1㎡当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
破 碎 材		㎡	1.5 or 必要量	現地破碎は3) 単価表参照 資材購入は見積(円/㎡)
肥 料	N15-P15-K15	kg	必要量	メーカー数量
遅 効 性 肥 料		kg	必要量	メーカー数量
侵 食 防 止 剤		kg	必要量	メーカー数量
添 加 剤		kg	必要量	メーカー数量
計				

3) 破碎材(現場加工) 単価表

(100㎡当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
自走式木材破碎機運転	130~150kW	日	2.55	100㎡÷(7㎡/h×5.6h/日) 4) 単価表参照
クローフォーク付BH運転	掴み装置(0.7m級) BH山積0.45㎡, 排対型	時間	14.34	2.56日×5.6h/日 5) 単価表参照
計				

4) 自走式木材破碎機運転 単価表

(1日当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
特殊運転手		人	1.00	
軽 油		L	146.08	H21治山林道必携(P1244, 1256) 390h÷70日=5.6h/日 0.185×141kW×5.6h
機 械 損 料	130～150kW(141kW)	供日	1.40	H21治山林道必携(P1244) 100(供用日)÷70(運転日)
消 耗 品 費	ビット, ハンマー, スクリーン, パー, コンベア	日	1.00	見積額(円/日)
計				

5) クローフォーク付バックホウ運転 単価表

(1時間当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
特殊運転手		人	0.16	
軽 油		L	11.00	
機 械 損 料	掴み装置(0.7m級)	h	1.00	H21治山林道必携(P1249)
機 械 損 料	BH山積0.45m ³ , 排対型	h	1.00	H21治山林道必携(P 975)
計				

6) 積込運搬工

(1m³当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
バックホウ積込	BH山積0.8m ³ , 排対型	m ³	1.00	(砂質土を準用)
ダンプトラック運搬	10.0t, L=〇〇km	m ³	1.00	運搬距離は平均により算出 6.6m ³ /台(シラスを準用)
計				

4-5 種子吹付工(市場単価適用範囲外に使用する)

(5) 施工材料

1) 種子吹付工 <一部県独自>

(100m²当たり)

名 称	規 格	数 量	単 位
混 合 種 子		0.77	kg
肥 料 高 度 化 成		18.0	kg
養生剤ファイバー		20.0	kg
安 定 剤	土壌侵食防止剤	6.00	L
着 色 剤		0.10	kg
種 子 吹 付 機 運 転	車載式, 種子専用2.5m ³	0.60	時間(h)
トラック運転経費	4.0～4.5t積	0.60	時間(h)
土木一般世話役		0.10	人
法 面 工		0.20	人
普 通 作 業 員		0.20	人
諸 雑 費		0.40	%
△△ 合計 △△			

2) 混合種子〈県独自〉 (0.77kg/100㎡当たり)

名 称	規 格	数 量	単 位
クリーピングレッドフェスク		0.31	kg
ケンタッキーブルーグラス		0.09	kg
ホワイトクローバー		0.12	kg
バミューダグラス		0.04	kg
よ も ぎ		0.02	kg
め ど は ぎ		0.19	kg
△△ 合計 △△		0.77	kg

4-6 植生ネット工 (市場単価適用範囲外に使用する)

(3) 特殊肥料袋付きビニール被覆金網張工 〈一部県独自〉 〈国必携P-275〉

2) 施工歩掛

(100㎡当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量
世 話 役		人	0.50
法 面 工		人	1.30
普 通 作 業 員		人	0.70
特殊肥料袋付きビニール被覆金網	網目26mm	㎡	120.00
アンカーピン	径16mm,長さ40cm	本	14.00
アンカーピン	径9mm,長さ20cm	本	153.00
鉄 丸 釘	ワッシャー付,長さ15cm	kg	9.52
平 座 金	12×30 穴6.5	枚	400.00
諸 雑 費		%	5.00
合 計			

(4) ビニール被覆金網張工 〈一部県独自歩掛〉 〈国必携P-275〉

施工単価コード SK40504

労務費については、国版必携の「植生ネット工歩掛」を適用する。

(100㎡当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量
世 話 役		人	0.40
法 面 工		人	1.00
普 通 作 業 員		人	0.60
ビニール被覆金網	網目26mm	㎡	120.00
アンカーピン	径9mm,長さ20cm	本	153.00
鉄 丸 釘	ワッシャー付,長さ15cm	kg	5.00
平 座 金	12×30 穴6.5	枚	210.00
諸 雑 費		%	6.00
合 計			

第6 杭打ち及び矢板打ち

6-1 杭打ち

6-1-7 (参考歩掛) 木杭打ち (大型ブレーカ)

(1) 適用範囲 <一部県独自> <国必携P-415>

本歩掛は、大型ブレーカ（バックホウ装着式）により、杭長3.5m以下の木杭の打込む場合に適用する。また、この歩掛は、コンクリート杭（簡易杭3.0m以下）にも適用する。ただし、木柵工及び防風工には適用しない。

6-1-8 止杭付一本土台（県独自）

1組 4.0m

(1組当たり)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
胴木	L=4.2m 径12cm	(m ³) 本	(0.06) 1.00	継手20cm相次ぎ、丸棒加工品
杭木	L=1.5m or 2.0m 径9cm	本	4.00	丸棒加工品
ボルトナット	L-14.0cm φ0.127m	(kg) 本	(0.32) 1.00	胴木継手
ボルトナット	L-24.0cm φ0.127m	(kg) 本	(1.68) 4.00	胴木と杭止締結
型枠工		人	0.10	切組一式
普通作業員		人	0.10	大工手伝
機械杭打ち		本	4.00	杭打(6-1-7 参照)
計				

備考1 止杭長については、現場に応じて変更すること。(1本当たり単価を使用する場合は、木杭仕揃え分を減ずること)

備考2 マツ杭を使用する場合は、木なり製品とし、別途見積もりを行うこと。

6-1-9 止杭付梯子土台（県独自）

1組 4.0m

(1組当たり)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
胴木	L=4.2m 径12cm	(m ³) 本	(0.12) 2.00	継手20cm相次ぎ、丸棒加工品
栈木	L=1.0m 径10cm	(m ³) 本	(0.04) 4.00	丸棒加工品
杭木	L=1.5m or 2.0m 径9cm	本	8.00	丸棒加工品
ボルトナット	L-14.0cm φ0.127m	(kg) 本	(0.64) 2.00	胴木継手
〃	L-24.0cm φ0.127m	(kg) 本	(3.37) 8.00	胴木、栈木、止杭締結
型枠工		人	0.40	切組一式
普通作業員		人	0.40	大工手伝
機械杭打ち		本	8.00	杭打(6-1-7 参照)
計				

備考1 止杭長については、現場に応じて変更すること。(1本当たり単価を使用する場合は、木杭仕揃え分を減ずること)

2 マツ杭を使用する場合は、木なり製品とし、別途見積もりを行うこと。

第7 木製構造物工

7-1 土留工・擁壁工

7-1-4 L型木製土留工（木製L型擁壁）〈一部県独自〉〈国必携P-467〉

(1) 適用範囲

本歩掛は、次の構造のL型木製土留工に適用する。

(m)

規 格		1-1	1-2	1.5-1	1.5-2	2-1	2-2
寸 法	高 さ	1.0	1.0	1.5	1.5	2.0	2.0
	長 さ	1.0	2.0	1.0	2.0	1.0	2.0

(2) 施工歩掛

(10m当たり)

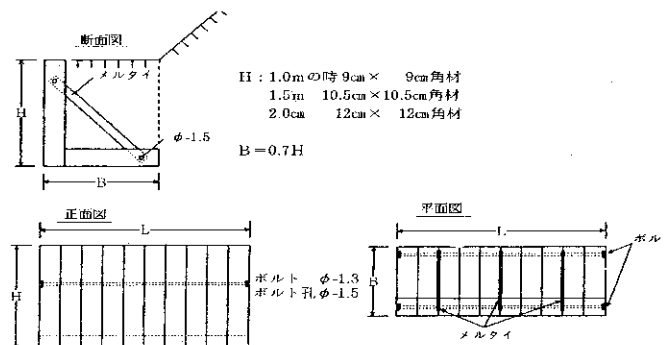
名 称	規 格	単位	タイプ 1-1	タイプ 1-2	タイプ 1.5-1	タイプ 1.5-2	タイプ 2-1	タイプ 2-2
木製L型擁壁		組	10	5	10	5	10	5
一般世話役		人	0.3					
普通作業員		人	1.1					
トラッククレーン賃料	油圧式伸縮 ジブ4.9t吊	日	-			0.3		

(参考)

① 1組当たり材料表

タ イ プ	1-2	1.5-2	2-2
ス ギ 材	9.0cm×9.0cm 角材	10.5cm×10.5cm 角材	12.0cm×12.0cm 角材
	H 100cm 22本	H 150cm 19本	H 200cm 17本
	B 70cm 22本	B 105cm 19本	B 140cm 17本
ボルトφ-1.3cm	198.0cm 2本	199.5cm 3本	204.0cm 3本
メ タ ル タ イ	巾4.5cm t-0.23cm	巾4.5cm t-0.23cm	巾4.5cm t-0.23cm
	ボルト穴D-70.7cm 3枚	ボルト穴D-106.1cm 3枚	ボルト穴D-141.4cm 4枚
釘	9cm, 88本	10cm, 76本	12cm, 68本

② 施工標準図



第8 仮設工

8-11 工事中防護柵工

8-11-1 工事中仮設防護柵工（丸太）

工事中仮設防護柵工一覧表

ケース	主 材 料	土 留 材 料	使 用 範 囲
①	(松)杉丸太 φ12cm×200cm	杉 板 200×20×3.6	斜面中間
②	(松)杉丸太 φ12cm×400cm	杉 板 200×20×3.6	人家との間に余裕があり 比較的緩斜面で良好な土質
③		防護網 網目50×8#+(筋違)	
④	単 管 4.86 × 4.50	防護網 網目50×8#	同 上
⑤	(松)杉丸太 φ12cm×500cm	杉 板 200×20×3.6	同 上
⑥		防護網 網目50×8#	
⑦	(松)杉丸太 φ12cm×600cm	杉 板 200×20×3.6	人家との間に余裕があり比較的 急斜面で少崩落の予想される土質
⑧		防護網 網目50×8#	

- 備考 1 高さの選定については、斜面と人家の関連を考慮して現地に適合した高さとする。
 2 土留材料の板、又は、防護網使用区分は、予想される崩落の土質を考慮して決定する。
 3 上記のケースに該当できない現場については、各現場に適する防護柵で計画する。
 4 材料の計算は末口二乗法とする。

工事中防護槽工（丸太）種別歩掛表

（1.0m当たり）

長 × 高	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
	10.0×1.5 杉又は松丸太	10.0×3.0 杉又は松丸太	10.0×3.0 杉又は松丸太	10.0×4.0 単管	10.0×4.0 杉又は松丸太	10.0×4.0 杉又は松丸太	10.0×5.0 杉又は松丸太	10.0×5.0 杉又は松丸太
主 柱	200×φ12×10 本	400×φ12×5 本	400×φ12×5 本	450×φ4.86×5 本	500×φ12×5 本	500×φ12×5 本	600×φ12×5 本	600×φ12×5 本
横 梁	400×φ9×5 "	400×φ12×5 "	400×φ12×5 "	400×φ4.86×5 "	400×φ12×5 "	400×φ12×5 "	400×φ12× 7.5 "	400×φ12× 7.5 "
控 木	200×φ12×5 "	200×φ12×5 "	200×φ12×5 "	300×φ4.86×5 "	280×φ12×5 "	280×φ12×5 "	150×φ12×5 "	400×φ12×5 "
控 杭	100×φ12×5 "	150×φ12×5 "	150×φ12×5 "		150×φ12×5 "	150×φ12×5 "	150×φ12×5 "	150×φ12×5 "
筋 違			260×φ12×20 "	300×φ4.86×20 "		290×φ12×20 "		290×φ12×30 "
小 計								
材 料 費	8-12-1-(1) 仮設材の損料率等適用 <国必携P-17>							
損 料	厚板 (37.5枚) 200×20×3.6	厚板 (75枚) 200×20×3.6	＃ 網目50×8× 30.0m ²	＃ 網目50×8× 40.0m ²	厚板 (100枚) 200×20×3.6	＃ 網目40×8× 40.0m ²	厚板 (125枚) 200×20×3.6	＃ 網目50×8× 50.0m ²
土 留 板								
防 護 網								
小 計								
損 料	8-12-1-(1) 仮設材の損料率等適用 <国必携P-17>							
雑 材 料	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%
計								
と び 工	0	3.0	3.2	3.9	4.2	4.4	5.6	6.1
勞 務 費								
普通作業員	5.9	6.4	6.6	6.8	7.8	7.9	9.9	10.1
計								
1m当たり								
松 材								
杉 材								

【単価表】

ケース① 第1号表 工事中防護柵 タイプ1 (m当たり)

名称	規格	単位	数量	摘要
主材料損料		m	10.0	第2号表
土留板損料		m	10.0	第3号表
雑材料		%	10.0	上記金額の10%
普通作業員		人	5.9	
諸雑費	#10	式	1.0	
計	10m当たり			
m当たり				

第2号表 主材料損料 (m当たり)

名称	規格	単位	数量	摘要
主柱		m ³	0.290	L=2.0m φ=12cm 10本
横梁		m ³	0.160	L=4.0m φ=9cm 5本
控木		m ³	0.145	L=2.0m φ=12cm 5本
控杭		m ³	0.070	L=1.0m φ=12cm 5本
計				
損料	10m当たり	式	1.0	
m当たり				

第3号表 土留板損料 (m当たり)

名称	規格	単位	数量	摘要
土留板	厚3.6cm	m ³	0.540	200×20×3.6 37.5枚
計				
損料	10m当たり			
m当たり				

ケース② 第1号表 工事防護柵 タイプ2 (m当たり)

名称	規格	単位	数量	摘要
主材料損料		m	10.0	第2号表
土留板損料		m	10.0	第3号表
雑材料		%	10.0	上記金額の10%
とび工		人	3.0	
普通作業員		人	6.4	
諸雑費		式	1.0	#10
計	10m当たり			
m当たり				

第2号表 主材料損料 (m当たり)

名称	規格	単位	数量	摘要
主柱		m ³	0.290	L=4.0m φ=12cm 5本
横梁		m ³	0.290	L=4.0m φ=12cm 5本
控木		m ³	0.145	L=2.0m φ=12cm 5本
控杭		m ³	0.110	L=1.5m φ=12cm 5本
計				
損料	10m当たり	式	1.0	
m当たり				

第3号表 土留板損料 (m当たり)

名称	規格	単位	数量	摘要
土留板	厚3.6cm	m ³	1.080	200×20×3.6 75枚
計				
損料	10m当たり			
m当たり				

ケース③ 第1号表 工事中防護柵 タイプ3 (m当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
主 材 料 損 料		m	10.0	第2号表
防 護 網 損 料		m	10.0	第3号表
雑 材 料		%	10.0	上記金額の10%
と び 工		人	3.2	
普 通 作 業 員		人	6.6	
諸 雑 費		式	1.0	#10
計	10m当たり			
m当たり				

第2号表 主材料損料 (m当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
主 柱		m ³	0.290	L=4.0m φ=12cm 5本
横 梁		m ³	0.290	L=4.0m φ=12cm 5本
控 木		m ³	0.145	L=2.0m φ=12cm 5本
控 杭		m ³	0.110	L=1.5m φ=12cm 5本
筋 違		m ³	0.750	L=2.6m φ=12cm 20本
計				
損 料	10m当たり	式	1.0	
m当たり				

第3号表 防護網損料 (m当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
防 護 網 損 料	網目50×8#	m ²	30.0	網目50×8#×30m ²
工事用シート	ビニロンシート	m ²	30.0	シート単価×0.30
計	10m当たり			
m当たり				

ケース④ 第1号表 工事中防護柵 タイプ4 (m当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
主 材 料 損 料		m	10.0	第2号表
防 護 網 損 料		m	10.0	第3号表
雑 材 料		%	10.0	上記金額の10%
と び 工		人	3.9	
普 通 作 業 員		人	6.8	
諸 雑 費		式	1.0	#10
計	10m当たり			
m当たり				

第2号表 主材料損料 (m当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
丸パイプ主柱	厚2.4mm	m	22.50	L=4.5m φ=4.86cm 5本
丸パイプ横梁	厚2.4mm	m	20.00	L=4.0m φ=4.86cm 5本
丸パイプ控木	厚2.4mm	m	15.00	L=3.0m φ=4.86cm 5本
丸パイプ筋違	厚2.4mm	m	60.00	L=3.0m φ=4.86cm 20本
計				
損 料	10m当たり	式	1.0	
m当たり				

第3号表 防護網損料 (m当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
防 護 網 損 料	網目50×8#	m ²	40.0	網目50×8#×40m ²
工事用シート	ビニロンシート	m ²	40.0	シート単価×0.30
計	10m当たり			
m当たり				

ケース⑤ 第1号表 工事中防護柵 タイプ5 (m当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
主材料損料		m	10.0	第2号表
防護網損料		m	10.0	第3号表
雑材料		%	10.0	上記金額の10%
とび工		人	4.2	
普通作業員		人	7.8	
諸雑費		式	1.0	#10
計	10m当たり			
m当たり				

第2号表 主材料損料 (m当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
主 柱		m ³	0.360	L=5.0m φ=12cm 5本
横 梁		m ³	0.290	L=4.0m φ=12cm 5本
控 木		m ³	0.200	L=2.8m φ=12cm 5本
控 杭		m ³	0.110	L=1.5m φ=12cm 5本
計				
損 料	10m当たり	式	1.0	
m当たり				

第3号表 土留板損料 (m当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土 留 板	厚3.6cm		1.440	200×20×3.6 100枚
計				
損 料	10m当たり			
m当たり				

ケース⑥ 第1号表 工事中防護柵 タイプ6 (m当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
主材料損料		m	10.0	第2号表
防護網損料		m	10.0	第3号表
雑材料		%	10.0	上記金額の10%
とび工		人	4.4	
普通作業員		人	7.9	
諸雑費		式	1.0	#10
計	10m当たり			
m当たり				

第2号表 主材料損料 (m当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
主 柱		m ³	0.360	L=5.0m φ=12cm 5本
横 梁		m ³	0.290	L=4.0m φ=12cm 5本
控 木		m ³	0.200	L=2.8m φ=12cm 5本
控 杭		m ³	0.110	L=1.5m φ=12cm 5本
筋 違		m ³	0.840	L=2.9m φ=12cm 20本
計				
損 料	10m当たり	式	1.0	
m当たり				

第3号表 防護網損料 (m当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
防 護 網	網目50×8#	m ²	40.0	網目50×8#×40m ²
損 料				
工事用シート	ビニロンシート	m ²	40.0	シート単価×0.30
計	10m当たり			
m当たり				

ケース⑦ 第1号表 工事中防護柵 タイプ9 (m当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
主材料損料		m	10.0	第2号表
土留板損料		m	10.0	第3号表
雑材料		%	10.0	上記金額の10%
とび工		人	5.6	
普通作業員		人	9.9	
諸雑費		式	1.0	#10
計				
m当たり	10m当たり			

第2号表 主材料損料 (m当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
主 柱		m ³	0.430	L=6.0m φ=12cm 5本
横 梁		m ³	0.430	L=4.0m φ=12cm 7.5本
控 木		m ³	0.290	L=4.0m φ=12cm 5本
控 杭		m ³	0.110	L=1.5m φ=12cm 5本
計				
損 料	10m当たり	式	1.0	
m当たり				

第3号表 土留板損料 (m当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土 留 板	厚3.6cm	m ²	1.80	200×20×3.6 125枚
計				
損 料	10m当たり			
m当たり				

ケース⑧ 第1号表 工事中防護柵 タイプ10 (m当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
主材料損料		m	10.0	第2号表
防護網損料		m	10.0	第3号表
雑材料		%	10.0	上記金額の10%
とび工		人	6.1	
普通作業員		人	10.1	
諸雑費		式	1.0	#10
計	10m当たり			
m当たり				

第2号表 主材料損料 (m当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
主 柱		m ³	0.430	L=6.0m φ=12cm 5本
横 梁		m ³	0.430	L=4.0m φ=12cm 7.5本
控 木		m ³	0.290	L=4.0m φ=12cm 5本
控 杭		m ³	0.110	L=1.5m φ=12cm 5本
筋 違		m ³	1.260	L=2.9m φ=12cm 10本
計				L=2.9m φ=12cm 20本
損 料	10m当たり	式	1.0	
m当たり				

第3号表 防護網損料 (m当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
防 護 網	網目50×8#	m ²	50.0	網目50×8#×50m ²
損 料				
工事用シート	ビロンシート	m ²	50.0	シート単価×0.30
計	10m当たり			
m当たり				

第2編 治 山

第1 山地治山土工

1-1-1 適用基準

(3) 山地治山工（A）は、山林砂防工を適用する工事に適用する。また、山地治山工（B）は、普通作業員を適用する工事に適用する。

※ ただし、鹿児島県においては山林砂防工は適用しない。

第2 治山ダム工

2-11 コルゲート蓋取付工（県独自歩掛）

名 称	単 位	1 枚	2 枚
コ ル ゲ ー ト	m	1.00	2.00
世 話 役	人	0.04	0.06
普 通 作 業 員	人	0.07	0.12
諸 雑 費	%	10.00	10.00
計			

備考 諸雑費は穿孔機械等の費用とし、労務費の合計額に上表の率を乗じて得た金額を上限として計上する。

第3 山腹工

3-15 転石空積工歩掛表（県独自歩掛）

(1㎡当たり)

名 称	数 量	単 位	摘 要
転 石	1.00	㎡	控60cm以上
普 通 作 業 員	0.15	人	床拵, 集石, 築石手伝
石 工	0.05	人	築石
バックホウ運転	0.50	h	バックホウ(0.6㎡), 20m以内の集石を含む。

備考1 法勾配4～7分までに適用する。

2 裏込石は、必要に応じて計上する。

3-16 プレキャスト流路工（県独自歩掛）

(10m当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量
プレキャスト流路工	スレンダーウォール(H=2.0m)	個	10.00
世 話 役		人	0.37
ブ ロ ッ ク 工		人	0.37
普 通 作 業 員		人	1.12
ラフテレーンクレーン賃料	油圧式4.9t吊	日	0.37
諸 雑 費		%	11.00

備考1 本歩掛は、現場内小運搬(10m程度)を含み、敷モルタル施工、接合、目地詰め及び吸出防止材設置までの作業であり、床掘、基礎砕石、基礎コンクリート、埋戻しは含まない。

2 諸雑費は、敷モルタル、目地モルタル材料等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

第5 森林整備

5-5-1 三枚段積苗工（県独自歩掛）

(100m当たり)

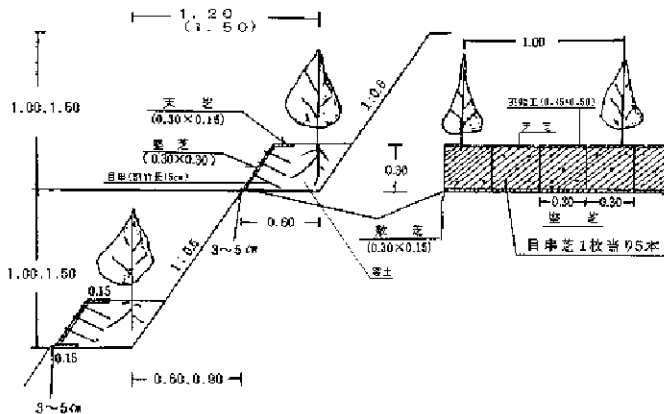
名称	形状寸法	単位	数量	摘要
苗木		本	100.00	1.00m間隔植栽
野芝	長さ30cm 幅30cm	枚	(29.7㎡) 330.00	堅芝
野芝	長さ30cm 幅15cm	枚	(29.7㎡) 660.00	敷芝, 天芝
目串		本	(16.5束) 1650.00	堅芝1枚当たり5本
肥料	ウッドエース	kg	15.00	
客土	ローム土	m³	15.00	直役採取
普通作業員		人	A	植穴, 掘付, 施肥植栽
普通作業員		人	3.60	芝付け, 仕上げ一切
普通作業員		人	B	客土運搬20m, 0.21人/㎡
普通作業員		人	C	階段切付
緑化基材		㎡	22.50	B=0.3m 11.25㎡
普通作業員		人	D	実播
計				

(人/100m)

配合割合 土質	植栽割合 5対5									植栽割合 7対3									摘要
	粘性砂質土			礫まじり土			軟岩(I)A			粘性砂質土			礫まじり土			軟岩(I)A			
区分 幅(B)	0.3	0.5	0.8	0.3	0.5	0.8	0.3	0.5	0.8	0.3	0.5	0.8	0.3	0.5	0.8	0.3	0.5	0.8	
植穴・掘付 施肥, 植栽	0.79	0.79	0.79	0.79	0.79	0.79	0.79	0.79	0.79	0.92	0.92	0.92	0.92	0.92	0.92	0.92	0.92	0.92	A
芝付け仕 上げ一切	3.60	3.60	3.60	3.60	3.60	3.60	3.60	3.60	3.60	3.60	3.60	3.60	3.60	3.60	3.60	3.60	3.60	3.60	
客土運搬	2.52	3.15	5.04	2.52	3.15	5.04	2.52	3.15	5.04	2.52	3.15	5.04	2.52	3.15	5.04	2.52	3.15	5.04	B
階段切付	2.70	4.50	7.20	3.60	6.00	9.60	7.20	12.00	19.20	2.70	4.50	7.20	3.60	6.00	9.60	7.20	12.0	19.20	C
実播	0.03	0.07	0.07	0.03	0.07	0.07	0.03	0.07	0.07	0.03	0.07	0.07	0.03	0.07	0.07	0.03	0.07	0.07	D

断面図

正面図



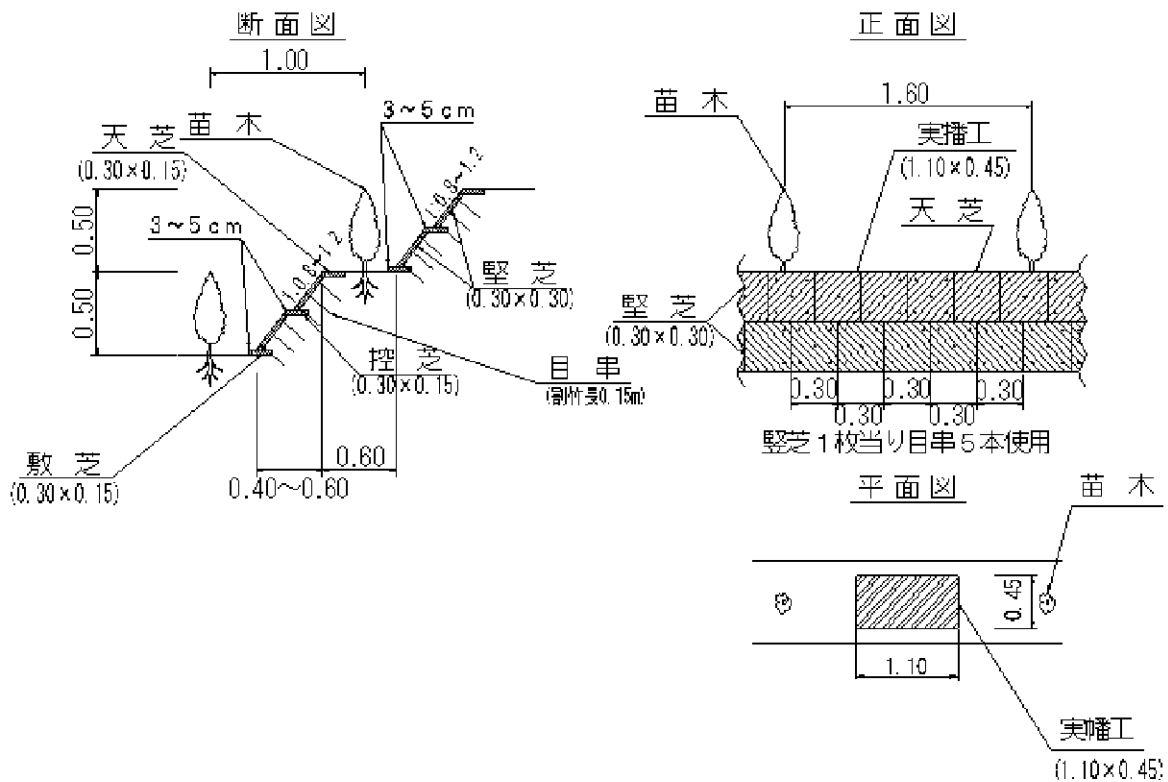
5-5-2 五枚段積苗工 (県独自歩掛)

(100m当たり)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
苗木		本	60.00	1.60m間隔植栽
野芝	長さ30cm 幅30cm	枚	(59.4m ²) 660.00	堅芝
野芝	長さ30cm 幅15cm	枚	(44.5m ²) 990.00	敷芝, 控芝, 天芝
目串		本	(33.0束) 3300.00	堅芝1枚当たり5本
肥料	ウッドエース	kg	9.00	
普通作業員		人	A	植穴, 掘付, 施肥植栽
普通作業員		人	B	芝付け, 仕上げ一切
緑化基材		m ²	30.00	
普通作業員		人	0.09	実播
計				

段積苗工は、シラス地帯の復旧工種として欠かせないもので、法面の浸食防止と早期緑化を図る。
(人/100m)

区分	混合割合	植栽割合 1対1		植栽割合 2対1		摘要
	土質	砂・砂質土	粘性土	砂・砂質土	粘性土	
植穴, 掘付, 施肥, 植栽		0.47	0.47	0.54	0.54	A
芝付け仕上げ一切		11.36	13.63	11.36	13.63	B



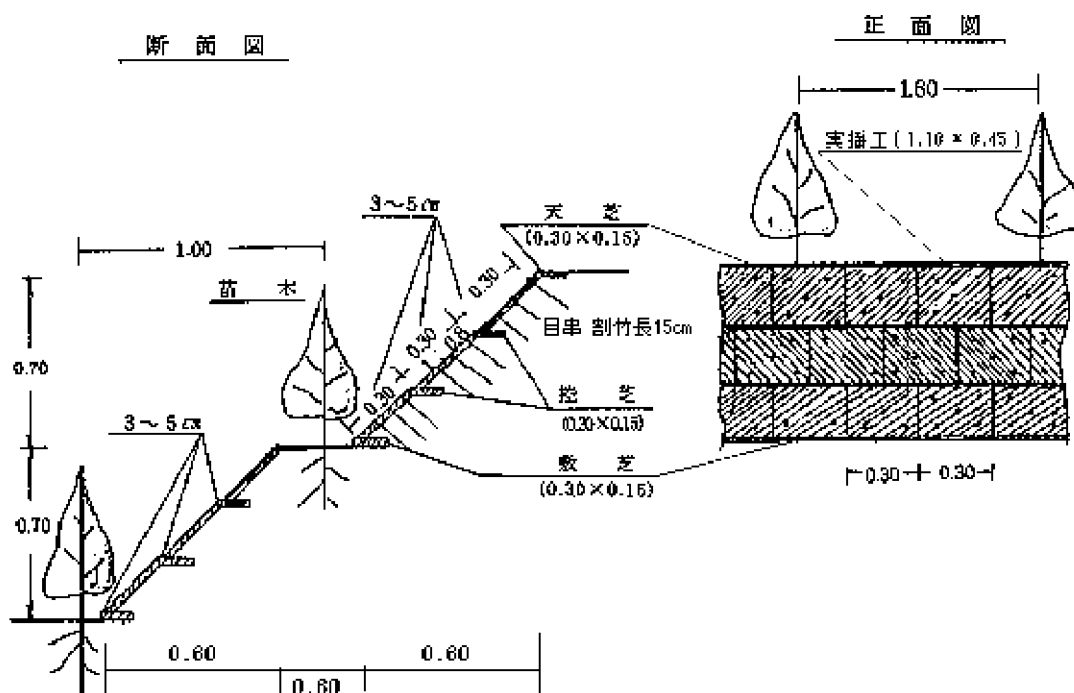
5-5-3 七枚段積苗工（県独自歩掛）

(100m当たり)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
苗木		本	60.00	1.60m間隔植栽
野芝	長さ30cm 幅30cm	枚	(89.1m ²) 990.00	堅芝
野芝	長さ30cm 幅15cm	枚	(59.4m ²) 1320.00	敷芝, 控芝, 天芝
目串		本	(49.5束) 4950.00	堅芝1枚当たり5本
肥料	ウッドエース	kg	9.00	
普通作業員		人	A	植穴, 掘付, 施肥植栽
普通作業員		人	B	芝付け, 仕上げ一切
緑化基材		m ²	30.00	
普通作業員		人	0.09	実播
計				

段積苗工は、シラス地帯の復旧工種として欠かせないもので、法面の浸食防止と早期緑化を図る。
(人/100m)

区分	混合割合	植栽割合1対1		植栽割合2対1		摘要
	土質	砂・砂質土	粘性土	砂・砂質土	粘性土	
植穴, 掘付, 施肥, 植栽		0.47	0.47	0.54	0.54	A
芝付け仕上げ一切		17.03	20.44	17.03	20.44	B
実播		0.09	0.09	0.09	0.09	



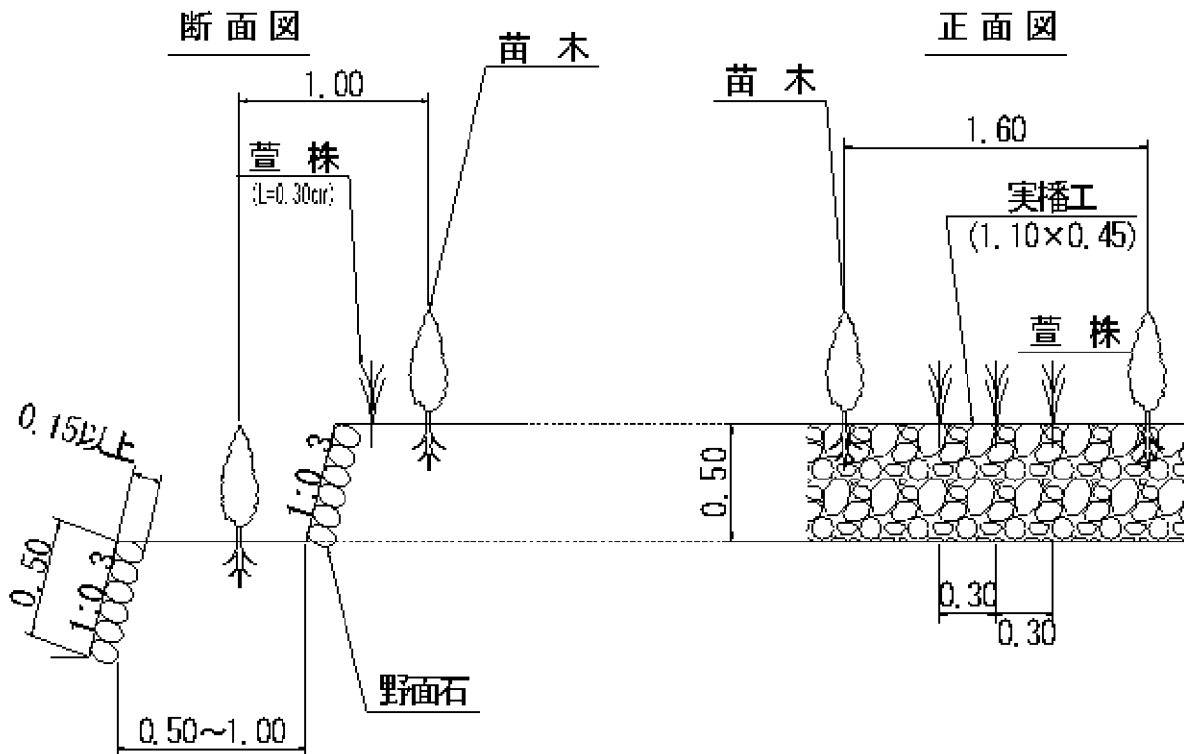
5-5-4 石筋工（県独自歩掛）

(100m当たり)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
苗木		本	60.00	1.60m間隔植栽
野面石	控長さ15cm以上	m ²	50.00	
肥料	ウッドエース	kg	9.00	
萱株	L=0.30m 1m縄締め	束	10.00	
普通作業員		人	2.10	萱株採取植付け
普通作業員		人	12.00	積石手間
普通作業員		人	4.00	野面石採取
普通作業員		人	A	植穴、掘付、施肥、植栽
緑化基材		m ²	30.00	
普通作業員		人	0.09	実播
計				

(人/100m)

区分	植栽割合		摘要
	1対1	2対1	
萱株採取植付け	2.10	2.10	
積石手間	12.00	12.00	
野面石採取	4.00	4.00	
植穴、掘付、施肥、植栽	0.47	0.54	A
実播	0.09	0.09	



5-5-5 一級芝筋工（県独自歩掛）

(100m当たり)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
苗木		本	60.00	1.6m間隔植栽
野芝	長さ30cm 幅15cm	枚	1320.00	敷芝, 控芝, 天芝
肥料	ウッドエース	kg	15.00	
普通作業員		人	A	植穴, 掘付, 施肥植栽
普通作業員		人	B	階段設置, 土羽打一切
緑化基材		m ²	30.00	
普通作業員		人	0.09	実播
計				

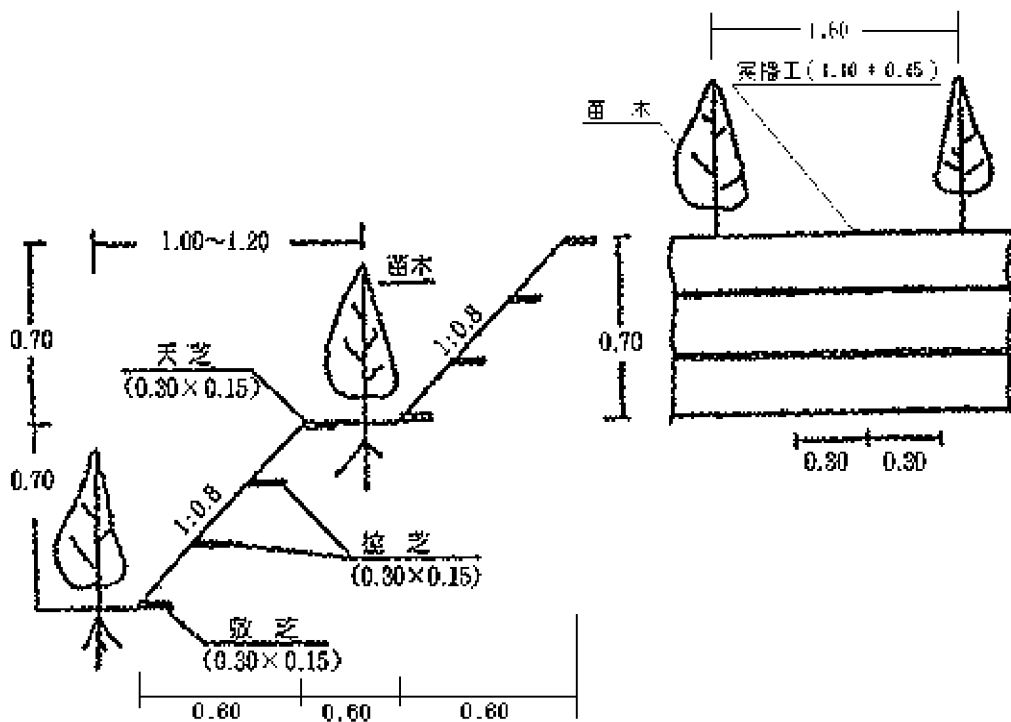
(人/100m)

区分	混合割合	植栽割合 1対1		植栽割合 2対1		摘要
	土質	砂・砂質土	粘性土	砂・砂質土	粘性土	
植穴, 掘付, 施肥, 植栽		0.47	0.47	0.54	0.54	A
階段設置, 土羽打一切		11.00	13.20	11.00	13.20	B
実播		0.09	0.09	0.09	0.09	

※ 粘性土等の復旧工種で、盛土斜面の早期緑化を図る。

〈断面図〉

〈正面図〉



5-5-6 二級芝筋工（県独自歩掛）

(100m当たり)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
苗木		本	100.00	1.0m間隔植栽
野芝	長さ30cm 幅15cm	枚	(14.85m ²) 330.00	天芝
肥料	ウッドエース	kg	15.00	
普通作業員		人	A	植穴、掘付、施肥植栽
普通作業員		人	B	階段切付整地
普通作業員		人	C	芝付仕上一切
緑化基材		m ²	22.50	B=0.3mの場合 11.25m ²
普通作業員		人	D	実播
計				

※ 客土が必要な箇所においては、客土及び客土施工手間を追加する。(積算検討会H14.4.1)

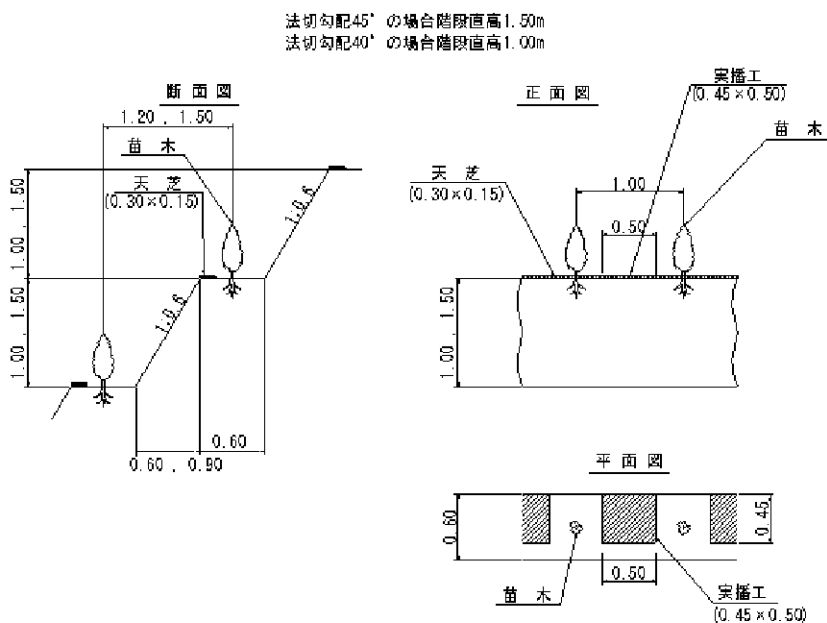
(人/100m)

土質 植栽割合 直高 区分	粘性土・砂質土												摘要
	5対5						7対3						
	1.0m			1.5m			1.0m			1.5m			
幅	0.3	0.5	0.8	0.3	0.5	0.8	0.3	0.5	0.8	0.3	0.5	0.8	
植穴、掘付、施肥、植栽	0.79	0.79	0.79	0.79	0.79	0.79	0.92	0.92	0.92	0.92	0.92	0.92	A
階段切付整地	2.70	4.50	7.20	4.10	6.80	10.80	2.70	4.50	7.20	4.10	6.80	10.80	B
芝付仕上一切	1.32	1.32	1.32	1.32	1.32	1.32	1.32	1.32	1.32	1.32	1.32	1.32	C
実播	0.03	0.07	0.07	0.03	0.07	0.07	0.03	0.07	0.07	0.03	0.07	0.07	D

(土質がローム土の場合)

※ 法切勾配45° の場合 = 階段直高1.50m

※ 法切勾配40° の場合 = 階段直高1.00m



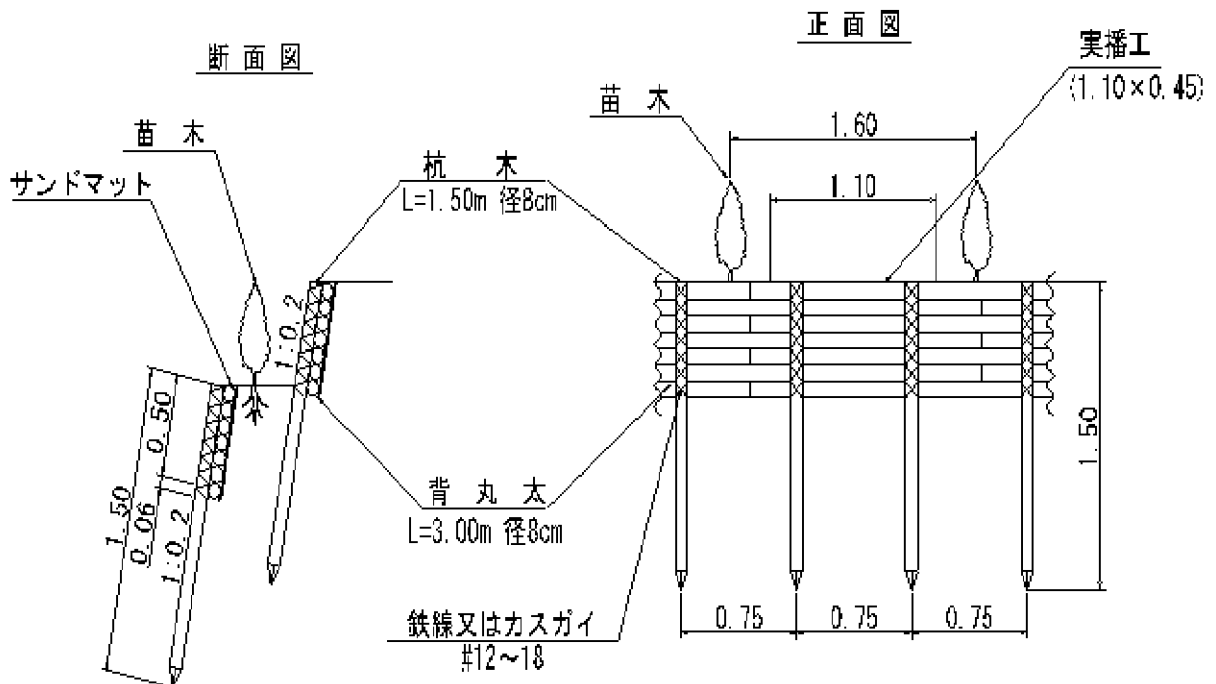
5-5-7 木柵工 (県独自歩掛)

(100m当たり)

名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要
苗 木		本	60.00	1.6m間隔植栽
杭 木	L=1.5m 径8cm	本	150.00	丸棒加工品
背 丸 太	L=3.0m 径8cm	本	233.00	丸棒加工品
ナマシ鉄線類	#12~18	kg	30.00	
サンドマット		m ²	50.00	
ウッドエース		kg	9.00	
緑 化 基 材		m ²	30.00	
普通作業員		人	4.65	杭打ち
普通作業員		人	4.00	組立繋結仕上一切
普通作業員		人	A	植穴掘付植付一切
普通作業員		人	0.09	実播
普通作業員		人	0.25	サンドマット布設
計				

(人/100m)

植栽割合 区 分	1 対 1	2 対 1	摘 要
杭 打 ち	4.65	4.65	
組立繋結仕上一切	4.00	4.00	
植穴掘付植付一切	0.47	0.54	A
緑化基材播種手間	0.09	0.09	
サンドマット布設	0.25	0.25	



5-5-8 編柵工 (県独自歩掛)

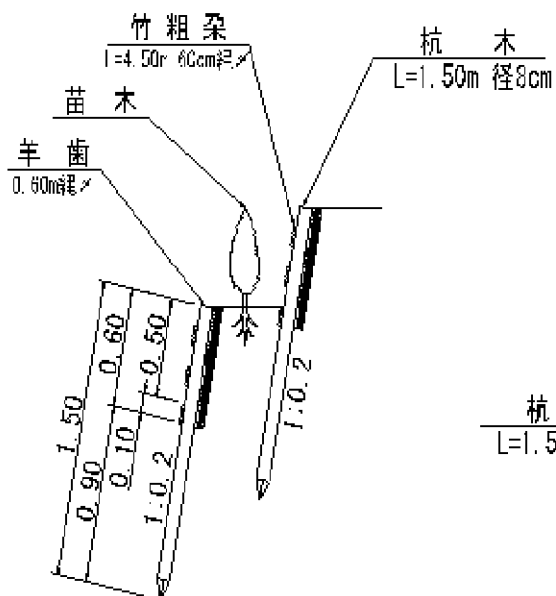
(100m当たり)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
苗木		本	60.00	1.60m間隔植栽
杭木	L=1.5m 径8.0cm	本	105.00	丸棒加工品
竹粗朶	L=4.5m 60cm締	束	35.00	
シダ	茎長0.6m 1.5m縄	束	25.00	
ウッドエース		kg	9.00	
緑化基材		m ²	30.00	
普通作業員		人	3.26	杭打ち
普通作業員		人	6.60	編み上げ, 仕上一切
普通作業員		人	1.10	シダ採取
普通作業員		人	A	植穴, 掘付, 施肥, 植栽
普通作業員		人	0.09	実播
計				

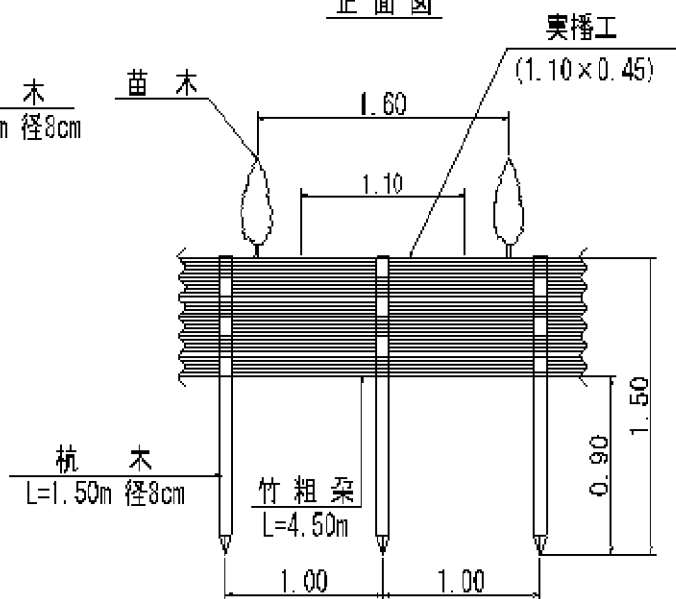
(人/100m)

区分	植栽割合		摘要
	1対1	2対1	
杭打ち	3.26	3.26	
編み上げ, 仕上一切	6.60	6.60	
シダ採取	1.10	1.10	
植穴, 掘付, 施肥, 植栽	0.47	0.54	A
実播	0.09	0.09	

断面図



正面図



5-5-9 植生帯付梢柵工（県独自歩掛）

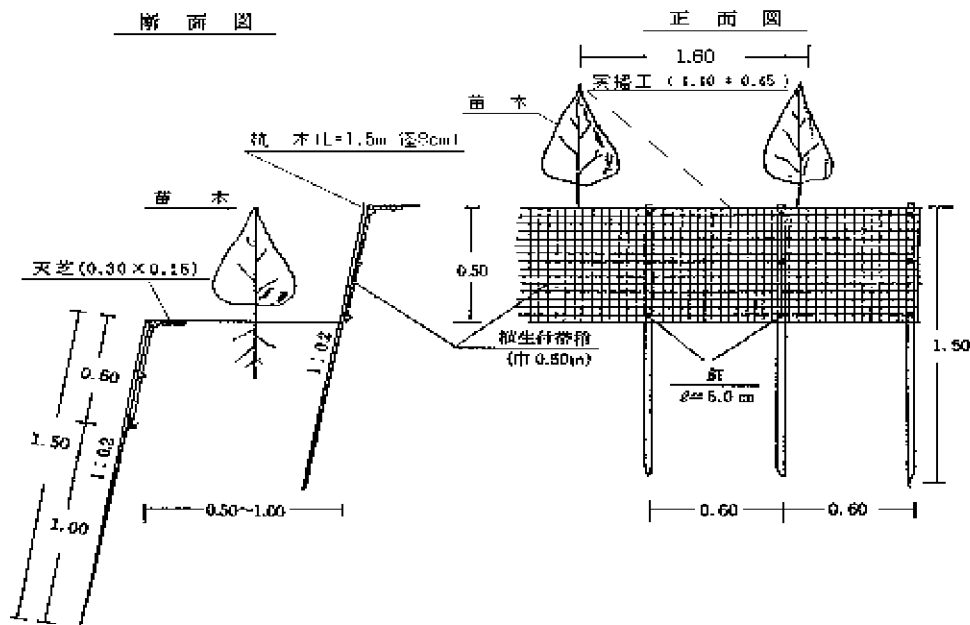
(100m当たり)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
苗木		本	60.00	1.60m間隔植栽
杭木	L=1.5m 径8.0cm	本	175.00	0.6m間隔, 地中1.0m打込 丸棒加工品
植生帯付梢	巾50.0cm	m	102.00	
ウッドエース		kg	9.00	
鉄釘類	L=6.0cm	kg	4.31	杭木1本当たり3ヶ所 (525本)
野芝	0.3×0.15	枚	(14.85m ²) 330.00	
緑化基材		m ²	30.00	
普通作業員		人	5.43	杭打ち
普通作業員		人	3.75	張手間仕上げ一切
普通作業員		人	A	植穴掘付植付一切
普通作業員		人	0.09	実播
計				

(人/100m)

区分	植栽割合		摘要
	1対1	2対1	
杭打ち	5.43	5.43	
張手間仕上げ一切	3.75	3.75	
植穴, 掘付, 施肥, 植栽	0.47	0.54	A
実播	0.09	0.09	

※ 帯梢の裏埋土は、湿気のある土砂を使用して種子の発芽を促進させる。



5-5-10 鋼板柵工 (県独自歩掛)

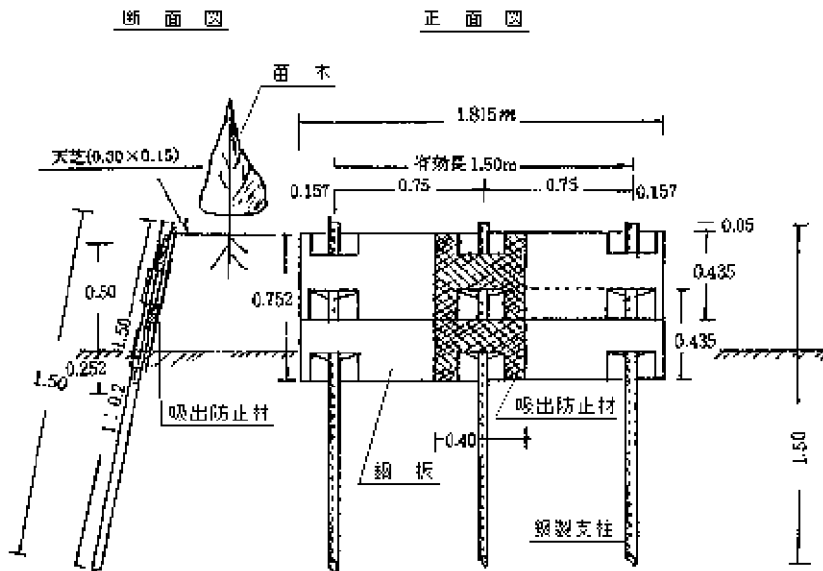
(100m当たり)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
苗木		本	60.00	1.60m間隔植栽
鋼板	435×1815	枚	A	
鋼製支柱	PSP4815(1,2段), PSP4820(3段)	本	135.00	
サンドマット		m ²	B	
ウッドエース		kg	9.00	
野芝	0.30×0.15m	枚	(14.85m ²) 330.00	
緑化基材		m ²	30.00	
普通作業員		人	C	杭打ち
普通作業員		人	0.50	鋼板組立仕上一切
普通作業員		人	D	植穴掘付植付一切
普通作業員		人	0.09	実播
計				

(人/100m)

区分	植栽割合 段数	1対1		2対1		1対1		2対1		摘要
		1段式	2段式	1段式	2段式	3段式	3段式	3段式	3段式	
鋼板		67.00	134.00	67.00	134.00	201.00	201.00	201.00	201.00	A
吸出防止材: マット		21.60	40.50	21.60	40.50	54.00	54.00	54.00	54.00	B
杭打ち		2.00	2.00	2.00	2.00	3.00	3.00	3.00	3.00	C
鋼板組立仕上		0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	
植穴掘付, 施肥, 植栽		0.47	0.47	0.54	0.54	0.47	0.47	0.54	0.54	D
実播		0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	

(2段式鋼板柵工)



5-5-11 丸太柵工（県独自歩掛）

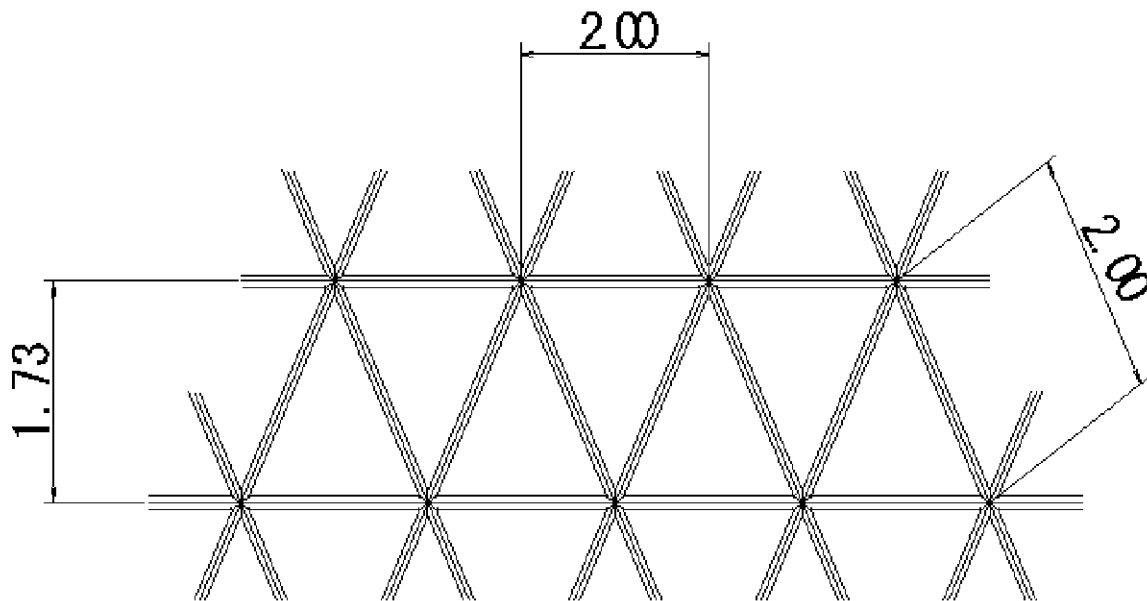
(100㎡当たり)

名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要
丸 太	長2.0m 径8.0cm	本	100.00	87.0×1.15 丸棒加工品
カスガイ	径6.0mm 長9.0cm	本	133.00	116.0×1.15
一般世話役		人	0.14	
普通作業員		人	3.37	据付3.29人+小運搬0.08
苗 木		本	41.00	主木
苗 木		本	17.00	肥料木
肥 料	ウッドエース	kg	8.70	150g×58本
普通作業員	植穴掘付 植付(主木)	人	0.50	$(0.77+0.44) \times 41/100$
普通作業員	植穴掘付 植付(肥料木)	人	0.06	$0.33 \times 17/100$
普通作業員	施肥	人	0.07	$1.25/1000 \times 58$
法面保護工		㎡	100.00	
計				

備考 緑化の種類は植生シート又は野芝を標準とする。

【丸太柵工 施工図】

(単位：m)



(注) 必要に応じて止杭を使用

第7 森林整備（保安林整備等）

7-1 保安林整備及び防災林造成事業

7-1-1 地拵歩掛 <県独自歩掛>

区 分	1 ha当たり歩掛	状 態
病虫害被災地	A	60.0 人 直径10.0cm以上の松くい虫による被災木が50%以上あり、又、雑竹（鋸使用による）つる類が複雑に密生し、作業が極めて困難。
	B	45.0 直径5.0cm以上の松くい虫による被災木が50%以上あり、雑木が繁茂しているが鉋鎌によって作業ができるもの。
	C	30.0 被災木は5.0cm以下のものが多いが、雑木は比較的かん木が多く、刈払機で容易に作業ができるもの。
粗悪及びせき悪地	A	55.0 雑木（大径木、小径木）のほか、竹、つる、茎類が複雑に密生し、地拵作業がきわめて困難なもの。
	B	45.0 おおむね15年生程度の雑木林（上層植生区分：中）
	C	30.0 おおむね10年生程度の雑木林（上層植生区分：疎）
原 野	A	25.0 散生地で立木度が50%以上あり、下層植生としてカヤ、シダ類が繁茂しているもの。
	B	16.0 砂質土で地表が裸地ないし、30%程度のかん木と植生があるもの。（主として海岸防災木の改良に適用）

備考1 職種は普通作業員とする。

2 海岸砂地造林には計上しない。

7-1-4 施肥歩掛 <国必携P-698, 備考は県独自>

(1,000本当たり)

名 称	数 量	摘 要
普通作業員	1.25人	半円施肥

備考1 施肥量は、1,000本当たり50kg程度を標準とし、海岸地帯の砂等、肥料成分の流失の激しい地域にあっては、1,000本当たり150kgを標準とする。

2 施肥方法は、肥料成分の流失するおそれのある急傾斜地では「半円施肥」とし、その他の海岸などの平坦地では「円形施肥」とする。

3 肥料木は、主材木と同様に肥料分を必要とすることから、同等の施肥を行なう。

4 本表は、普通の山行苗の植栽の場合に適用し、その他の苗木については施肥量を勘案して定めるものとする。

7-1-7 歩掛の補正 <県独自歩掛>

ア 傾斜による歩掛の補正

運搬歩掛を除く歩掛に適用する。

平均傾斜	補正係数
30° 以上	+10%
20~30° 未満	0
20° 未満	-5%

イ 車掛から現場までの徒歩距離による歩掛の補正
 地拵のみに適用する。(仮植, 新植, 施肥には適用しない。)

平均距離	補正係数
500m以上	+5%
200m~500m	0
200m以下	-5%

※ 平均距離とは、水平距離で現場中心までの距離とし、直高1.0m上るごとに6.0m加える。

7-2 保育事業

7-2-1 下刈歩掛

(ha当たり)

名称	数量	単位	金額	備考
普通作業員	9.30	人		
諸雑費	4.00	%		下刈鎌及び草刈機の損料, 燃料等

- 備考1 本歩掛は、かや、しだ、ささ等の生育地の人力・機械併用の標準歩掛である。
 2 雑木、雑竹等の生育地の員数は、上記歩掛の15%増しとする。
 3 諸雑費は労務費を対象とし、上記の率を乗じた金額を上限として計上する。
 4 歩掛の補正は次表による。

(1) 傾斜補正

平均勾配	補正係数 (%)
30度未満	0
30度以上	+5

(2) 密度補正

密度	補正係数 (%)
疎 (2束以下)	-15
中 (2束超~4束以下)	0
密 (4束超)	+10

(3) 草高補正

高さ	補正係数 (%)
1.0m未満	-5
1.0m以上1.5m未満	0
1.5m以上	+20

(4) 徒歩距離補正

徒歩距離補正は、7-2-10歩掛補正のイによる。

7-2-2 追肥歩掛

ア 保安林整備及び防災林造成事業の(7-1-4)施肥歩掛を適用する。

イ ただし、表層施肥(手まき)は次のとおりとする。

(1人当たり)

名称	施肥量
普通作業員	150 ~ 200 kg

7-2-3 除伐歩掛

<県独自歩掛>

(ha当たり)

名 称	状 態	数 量
普通作業員	雑木雑竹等除伐対象の生立度が 50%以上	13人
	〃 25%以上50%未満	9人
	〃 25%未満	6人

備考1 本表は標準であり、作業の難易度により増減するものとする。

2 生立度の考え方は次式のとおりとする。

$$\text{生立度}(\%) = \frac{\text{伐採本数(主林木の伐採木+雑木等)}}{\text{根元直径3.0cm以上の総立木本数}} \times 100$$

7-2-4 本数調整伐歩掛

(針葉樹)

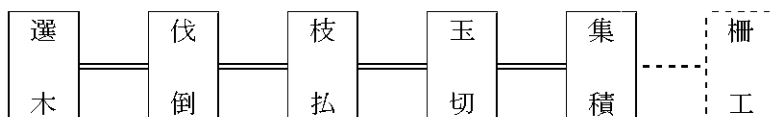
1 適用範囲

本歩掛は、森林整備事業における本数調整伐の選木及び伐倒集積に適用する。

※ 本歩掛は、鹿児島県では針葉樹のみに適用する。

2 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。



備考1 本歩掛が対応しているのは、実線部分のみである。

2 集積は、等高線上に伐採木を整理する作業である。

3 作業時間は、6時間/日とする。

3 労務編成(選木)

編成人員については、選木に2人と指示・野帳整理1人の3人編成とする。

普通作業員
3

(1) 選木施工歩掛

(100本当たり)

名 称	単 位	数 量	備 考
普通作業員	人	0.38	
諸 雑 費	%	5	

備考1 野帳整理、選木、目印設置の労務を含む。

2 諸雑費は、選木用テープ、刈払のための鎌・ナタ等の損耗費であり、労務費の合計額に上記の率を乗じた金額を上限として計上する。

4 労務編成(伐倒・集積)

編成人員については、伐倒・枝払・玉切に1人と、枝払・集積に2人の3人編成とし、1現場当たり2組の作業とする。

特殊作業員	普通作業員
2	4

(1) 伐倒・集積施工歩掛

(100本当たり)

名 称	単 位	数 量		備 考
		集積有	集積無	
特殊作業員	人	0.77	0.53	補正值
普通作業員	人	1.54	1.06	補正值
諸 雑 費	%	5(6)	5(6)	

備考1 伐倒・枝払・玉切・集積の作業に適用する。

2 集積は等高線上に整理することとし、20m程度の小運搬を含む。

3 柵工等が必要な場合は、別途計上する。

4 諸雑費は、チェーンソー運転経費、枝払等のナタ等の損耗費であり、労務費の合計額に上記の率を乗じた金額を上限として計上する。

5 植物油生分解性のチェーンソーオイルを使用する場合は、()書きの諸雑費を適用する。

(2) 補正 (伐倒・集積)

名 称	補 正 値
蔓の繁茂状況が著しい場合	+ 10 %
枝条密度が著しく高い場合	+ 10 %
径級で20cmを超えるものが主体の場合	+ 10 %

備考1 この補正は伐倒・集積歩掛のみに適用する。

2 上表を適用する場合は、労務数に上記率を乗じて計上すること。

$$\text{設計労務数} = \text{歩掛労務数} \times (1 + \text{補正率})$$

(3) 本数調整伐 (針葉樹) 100本当たり単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	施工歩掛コード	SC50011
				備 考	
普通作業員		人		選木	
特殊作業員		人		伐倒・集積 (伐倒・玉切・枝払)	
普通作業員		人		伐倒・集積 (伐倒・玉切・枝払)	
諸 雑 費		%	5(6)		
計					

7-2-5 本数調整伐歩掛 (広葉樹)

<県独自歩掛>

※ 本歩掛は、広葉樹のみに適用する。

(1) 選木 (日当たり施工量)

(3人1組・1日当たり)

胸高直径	径級10cm以下	径級12~18cm	径級20cm以上
選 木	1,100本	1,100~800本	800~600本
設計基準本数	(1,100)	(900)	(700)

備考1 選定者1人につき作業員2人

2 普通作業員とする

(2) 伐採 (日当たり施工量)

(1人1日当たり)

胸高直径	径級6~10cm	径級12~18cm以下	径級20cm以上
伐 採	360~180本	180~117本	117~90本
設計基準本数	(270)	(150)	(104)

備考1 後片付けは含まない

2 普通作業員とする

3 チェンソー経費は別途計上する。

(3) 伐採・後片付け（日当たり施工量）

(1人1日当たり)

胸高直径	径級6～10cm	径級12～18cm	径級20～24cm	径級26cm以上
伐採・後片付け	90～63本	45～32本	32～27本	18～14本
設計基準本数	(77.0)	(38.5)	(29.5)	(15.9)

備考1 後片付けは、玉切り、枝払いを行い、近くに集積する程度の作業である。

2 普通作業員とする。

3 チェンソー経費は、別途計上する。

(4) チェンソー経費歩掛

(1日当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
チェンソー損料	鋸長 350mm	日	1.00	34cc
混 合 油	混合油 25:1	L	0.90	0.45×2 (hr)
雑 材 料		%	20.00	混合油に対する率
チェーンオイル	生分解 or 鉍物	L	0.10	#80専用オイル

備考 労務費は計上しない。

(5) 本数調整伐（広葉樹）100本当たり単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
普通作業員		人	3×100/D	選木
普通作業員		人	1×100/D	伐採（後片付け）
チェンソー経費		日	1×100/D	
計				

D：日当たり施工量（設計基準本数）

7-2-6 つる切り歩掛 〈県独自歩掛〉

(1) つる切り歩掛

(ha当たり)

名 称	状 態	数 量
普通作業員	つるが林木にからまっている状態が、70%以上	9～12人
	〃 30%以上～70%未満	5～8
	〃 30%未満	4以下

(2) つる枯殺歩掛

区 分	査 定 事 項		ha当たり薬剤量	ha 当 り 人 夫 数	
	扱 別	つるが林木にからまっている状態か、又は林地を被覆している状態によって区分する。			
薬 剤	A	70%以上	微 粒 剤	75～100 kg	3.0～4.0人
			木 針	2,100～3,000 本	7.0～10.0人
			液 剤	2,100～3,000 本	5.5～7.5人
	B	30%～70%未満	微 粒 剤	50～75 kg	2.0～3.0人
			木 針	900～2,100 本	3.0～7.0人
			液 剤	900～2,100 本	2.5～5.5人
	C	30%未満	微 粒 剤	50 kg以下	2.0人以下
			木 針	900 本以下	3.0人以下
			液 剤	900 本以下	2.5人以下

○ 薬剤使用上の基準

- ア 微粒剤施用は、スギ、ヒノキの2年生以上の林分に限る。
- イ 微粒剤散布は、1人1日25kgとし、散布時期はくず等の新葉展開後から生育期とする。
- ウ 木針打込みは1人1日300本とする。施用時期は下刈と同時施用とする。
- エ 液剤塗布及び注入は1人日400本とする。

7-2-7 枝落とし歩掛

〈県独自歩掛〉

(100本当たり)

枝落高	普通作業員		1人1日工程	
	スギ	ヒノキ	スギ	ヒノキ
1.0 m	0.38 人	0.43 人	260 本	234 本
2.0	0.50	0.56	200	180
3.0	0.63	0.69	160	144
4.0	0.83	0.93	120	108
5.0	1.11	1.23	90	81
6.0	1.43	1.59	70	63

- 備考1 枝落高は、地際からの高さで、仕上高とする。
 2 ヒノキは、スギの10%増しとする。(上記歩掛は10%増済み数量)
 3 枝落巾は、2.00m以上とする。ただし、枝落高1.0mの枝落巾は1.0mを適用する。

7-2-8 部分補植歩掛

※ 7-1 保安林整備及び防災林造成事業の歩掛を適用する。

7-2-9 その他の歩掛

植栽木の健全な成長を促進するために必要な保育作業全般及び作業歩道については、治山林道必携の関係歩掛を適用する。

7-2-10 歩掛の補正

ア 傾斜による歩掛の補正

全ての作業種に適用する。

傾 斜	補正係数	摘 要
40以上	+20%	
30以上	+10%	
20～30	0	
20未満	-5%	

イ 車から現場までの徒歩距離による歩掛の補正

植栽、施肥等運搬歩掛を使用する作業種以外の作業種に適用する。

平均距離	補正係数
500m以上	+5%
200m～500m	0
200m以下	-5%

※ 平均距離とは水平距離で現場中心までの距離とし、直高1.0m上るごとに6.0mを加える。

7-4 防風工 (県独自歩掛)

7-4-1 防風工

(100m当たり)

名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要
防 風 網	巾1.0m	m	102.00	
杭 木	L=1.5m 径8.0cm	本	101.00	丸棒加工品
亜鉛引鉄線	#8	kg	44.27	
亜鉛引鉄線	#20	kg	0.40	
ホ ッ ク		個	400.00	
鉄 釘		kg	2.76	
普通作業員		人	5.00	
計				

7-4-2 単価表

(1) 防風ネット工設置工

(10m当たり)

名 称	規 格	数 量	単 位	備 考
支 柱		10.00	m	
ネ ッ ト		10.00	m	
塩 ビ 管	径13mm	11.00	本	
ビニコート鉄線	φ2.2			③材料参照
支 保 工				受座・基礎ボルト等
普通作業員			人	表1 支柱組立
普通作業員			人	表1 ネット張・床拵
足場損料				表1 足場損料
諸 雑 費		0.10	%	
計				

表1

(単位：人)

高 さ	A タイプ			B タイプ		
	組 立	床拵・ネット張	足場損料	組 立	ネット張	足場損料
2.0m	1.08	1.26	1.08	—	—	—
3.0m	1.26	1.26	1.44	1.26	0.90	1.44

(2) 支柱組立, ネット張工

H=3.0m

(100m当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量
支 柱	φ42.7×2.3t×3950L	本	50.00
控 柱	φ42.7×2.3t×3230L	本	50.00
横 材	φ34.0×2.3t×5000L	本	60.00
ネ ッ ト	Aタイプ (3200W) Bタイプ (2200W)	m	100.00
受 座 金 具	3.2 t ×116W×87L	個	150.00
基 礎 ボ ル ト	M10 ×1000L	個	50.00
パイプジョイント	φ27.2×150L	個	57.00
パイプセット金具	53W×80h×128L	個	50.00
塩 ビ 管	φ13.0×3350L	本	50.00
ビニコート鉄線	φ2.2	kg	15.60
丸 鋼	φ9×240L	本	100.00

※ 端末支柱を除く

H = 2.0 m

(100m当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量
支 柱	φ 42.7 × 2.3 t × 2850L	本	50.00
控 柱	φ 42.7 × 2.3 t × 2050L	本	50.00
横 材	φ 34.0 × 2.3 t × 5000L	本	40.00
ネ ッ ト	2200W	m	100.00
受 座 金 具	3.2 t × 116W × 87L	個	100.00
基 礎 ボ ル ト	M10 × 800L	個	50.00
パイプジョイント	φ 27.2 × 150L	個	38.00
パイプセット金具	53W × 80h × 128L	個	50.00
塩 ビ 管	φ 13.0 × 2350L	本	50.00
ビニコート鉄線	φ 2.2	kg	10.70
丸 鋼	φ 9 × 240L	本	100.00

※ 端末支柱を除く

(3) 単価表

① 防風ネット工(本体) (100m当たり単価表)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
生コンクリート人力打設		m ³		23.1(H=3.0m) 10.5(H=2.0m)
型 枠 工		m ²		117.0(H=3.0m) 72.5(H=2.0m)
バックホウ掘削		m ³		掘削161.25(H=3.0m) 101.90(H=2.0m)
バックホウ掘削		m ³		埋戻138.15(H=3.0m) 91.40(H=2.0m)
掘削面仕上げ		m ²		38.5(H=3.0m) 21.0(H=2.0m)
支 柱		本	50.0	
控 柱		本	50.0	
横 材	φ34.0×2.3t×5000L	本		60(H=3.0m) 40(H=2.0m)
ネ ッ ト		m	100.0	
受 座	32t×116×87L	個		150(H=3.0m) 100(H=2.0m)
基 礎 ボ ル ト		個	50.0	
パイプジョイント	φ27.2×150L	個		57(H=3.0m) 38(H=2.0m)
パイプセット金具	53W×80H×128L	個	50.0	
塩 ビ 管		本	50.0	
ビニコート鉄線	φ2.2	kg		15.6(H=3.0m) 10.7(H=2.0m)
丸 鋼	φ9×240L	本	100.0	
支柱組立・ネット張工		m	100.0	
計				

② 防風ネット(端末) (1本当たり単価表)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
生コンクリート人力打設		m ³		0.46(H=3.0m) 0.21(H=2.0m)
型 枠 工		m ²		2.34(H=3.0m) 1.45(H=2.0m)
バックホウ掘削		m ³		掘削3.23(H=3.0m) 2.04(H=2.0m)
バックホウ掘削		m ³		埋戻2.77(H=3.0m) 1.83(H=2.0m)
掘削面仕上げ		m ²		0.77(H=3.0m) 0.42(H=2.0m)
支 柱	φ42.7×2.3t	本	1.00	
控 柱	φ42.7×2.3t	本	1.00	
受 座	32t×116W×87L	個		3(H=3.0m) 2(H=2.0m)
基 礎 ボ ル ト	M10×850L	本	1.00	
パイプセット金具	53W×80H×128L	本	1.00	
塩 ビ 管		本	1.00	
ビニコート鉄線	φ2.2	kg		0.20(H=3.0m) 0.14(H=2.0m)
丸 鋼	φ9×240L	本	2.00	
計				

③ 支柱組立・ネット張工 (10m当たり単価表)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
普通作業員		人		支柱組立
普通作業員		人		ネット張り
足場損料	H=1.3m脚立	日		1組3台
諸 雑 費		%	0.10	
計				

(参考)

① 基礎部数量計算表 (10個当たり) (3 m)

コンクリート $0.55 \times 0.6 \times 1.40 \times 10 = 4.62 \text{ m}^3$

型 枠 $(0.55 \times 0.6 + 1.40 \times 0.6) \times 2 \times 10 = 23.4 \text{ m}^2$

掘 削 $\frac{0.90}{6} \{ (2 \times 1.80 + 2.88) \times 0.95 + (1.80 + 2 \times 2.88) \times 2.03 \} \times 10 = 32.25 \text{ m}^3$

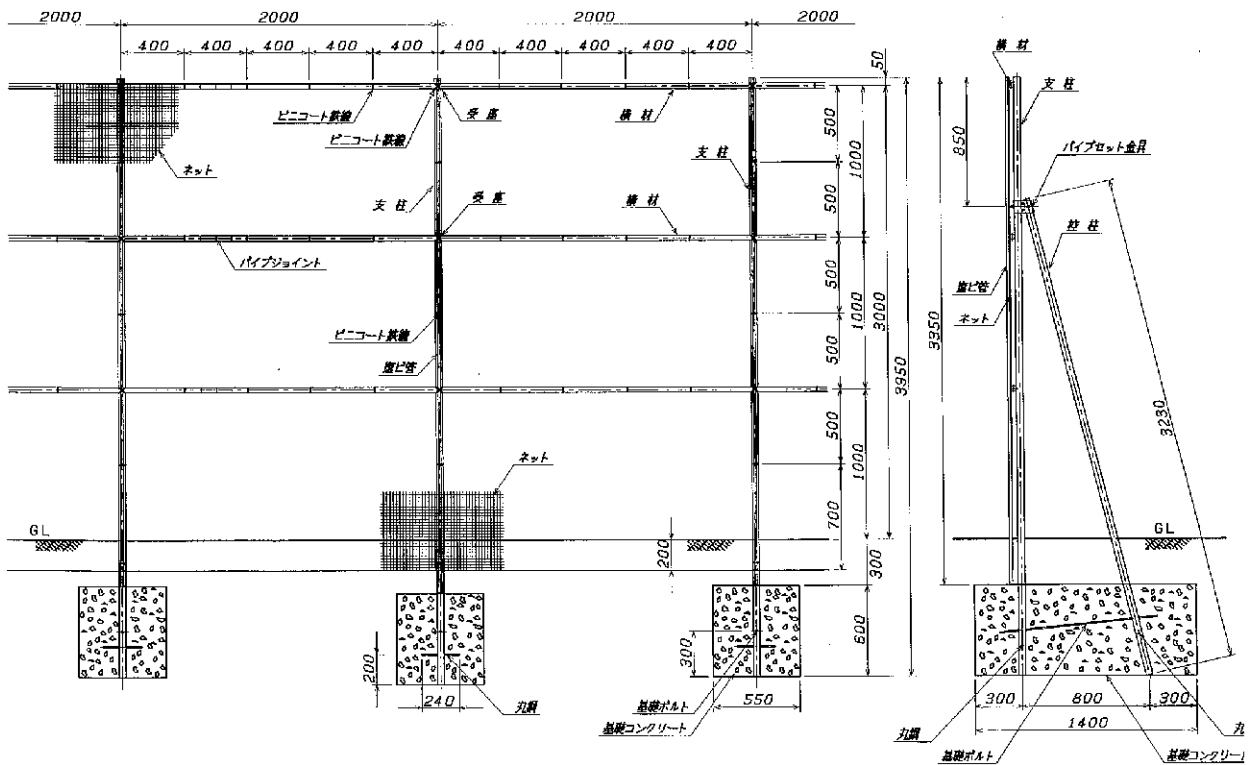
埋 戻 $32.25 - 4.62 = 27.63 \text{ m}^3$

掘削面仕上 $0.55 \times 1.40 \times 10 = 7.70 \text{ m}^2$

② 防風ネット種別表

種 別	H = 2.0 m	H = 3.0 m
A タ イ プ		
B タ イ プ		

③ 構造図 (H=3.00m Aタイプ)



7-4-3 竹箒防風工

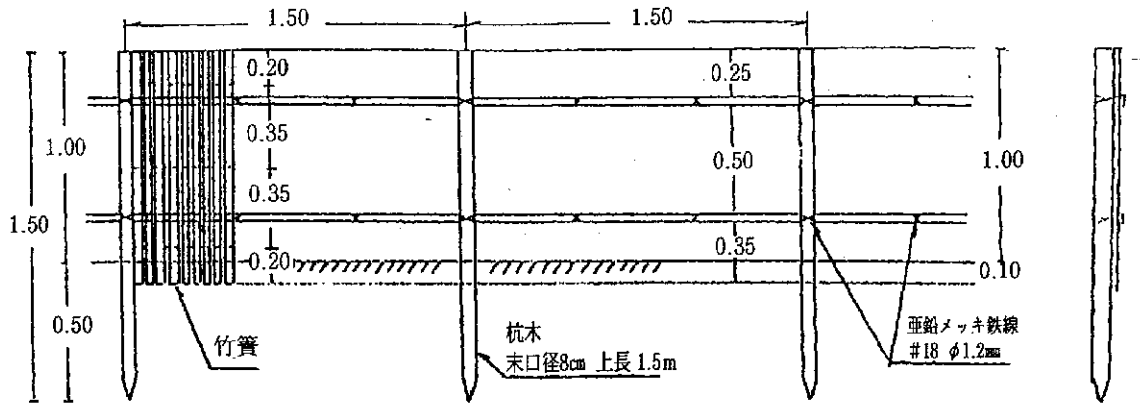
〈県独自歩掛〉

(10m当たり)

名称	形状・寸法	単位	数量	摘要
杭木	L=1.50m, 径8cm	本	6.67	根入れ0.50m
押竹	L=3.50m, 割竹巾2cm, 2段	本	12.00	1段当たり3×2=6本 2段当たり6×2=12本
竹箒	1.10m×2.50m割竹使用	枚	4.00	
鉄線	#12~#18	kg	0.40	
普通作業員		人	0.60	
	内訳		(杭建込) 0.14	$0.17 \times \frac{6.67}{5} \times \frac{0.50}{0.80} = 0.14$
			(箒立) 0.16	
			(結束仕上) 0.30	0.15人×2段

備考 労務数量については、「7-6-1 静砂垣, 堆砂垣工」を参考に算出している。

(参考)



7-4-4 丸太防風柵工

〈国必携P-495〉 一部県独自

本歩掛は、標準施工図に示す丸太防風柵の施工に適用する。

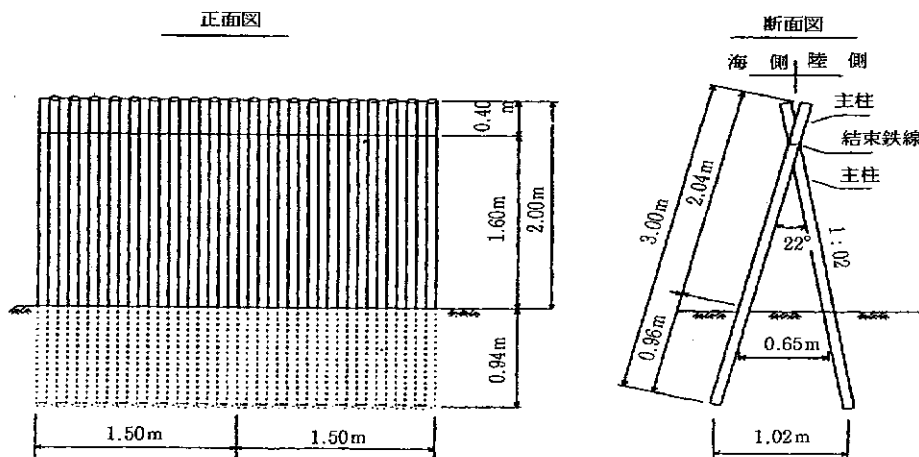
(10m当たり)

名称	規格・寸法	単位	数量	摘要
世話役		人	0.14	組立
普通作業員		人	0.56	組立・結束
丸太	径8.0cm, 長さ3.0m	本	125.00	防腐処理済 丸棒加工品
結束鉄線	亜鉛メッキ鉄線, #10, φ3.2mm	kg	1.98	

備考 掘削・埋戻しは別途計上する。

※ 10m当たりの丸太本数は125本とする。

〈参考標準施工図〉



7-7 被害木（風倒木）整理工（県独自歩掛）

7-7-1 被害木（風倒木）整理工

(1) 適用範囲

台風等により被害を受けた対象地の被害木を整理するために適用する。

(2) 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。



- 備考 1 集積は、等高線上に伐採木を整理する作業である。
2 植栽に必要な地拵えは含まない。

(3) 労務編成（伐倒・集積）

編成人員については、伐倒・枝払・玉切に1人と、枝払・集積に4人の5人編成とする。

特殊作業員	普通作業員
1	4

(4) 歩掛

対象地の材積及び林齢調査（現地）結果から歩掛区分を選択する。

(10m³当たり)

区 分		伐 木 造 材		集 積	諸 雑 費
適用材積 (ha当たりの最大被害材積)	対象林齢 (年生)	特 殊 作業員	普通作 業員①	普通作 業員②	
100m ³ 未満	15以下	2.7	10.7	1.2	6(5)
100m ³ 以上200m ³ 未満	16以上24以下	1.2	4.8		
200m ³ 以上300m ³ 未満	25以上34以下	0.7	2.7		
300m ³ 以上	35以上	0.4	1.7		

- 備考 1 伐倒・枝払・玉切・集積の作業に適用する。
2 集積は等高線上に整理することとし、20m程度の小運搬を含む。
3 諸雑費は、チェーンソー運転経費、枝払等のナタ等の損耗費であり、労務費の合計額に上記の率を乗じた金額を上限として計上する。
4 風倒木処理後、新植等を行う場合には、必要に応じ別途地拵えを計上すること。
5 植物油生分解性オイルを使用しない場合は、()の諸雑費を適用する。

(5) 単価表

被害木（風倒木）整理工歩掛

(10.0m³当たり)

名 称	規 格	数 量	単 位	金 額	摘 要
特殊作業員			人		
普通作業員①			人		
普通作業員②			人		※集積の場合に計上
諸 雑 費	生分解性or鉱物性	6(5)	%		
計					

第3編 林 道

第1 道路土工

1-2 機械掘削及び積込 <国必携P-729>

(3) 土石

2) 施工歩掛

イ バックホウ <国必携P-738>

(エ) 作業効率 (E) <国必携P-739>

備考9 バックホウかき落しは、0.15減じた値とする。(県独自)

1-3 盛土

1-3-1 機械盛土 <国必携P-743>

(2) 機種別の作業量

備考6 残土敷均しは、作業効率 (E) を2倍にして算出する。(県独自)

第2 舗装工

2-1 路盤工 (舗装工)

(3) 施工歩掛 <国必携P-758>

1) 使用機械 <一部県独自表示>

不陸整正及び路盤工に使用する機械は、次表のとおりとする。

使用機械				(1日当たり)		
施工区分	施工幅	工種	組合せ機械名	規格	単位	数量
車道 + 路肩施工	3.0m < b	不陸整正 及び路盤工	モーターグレーダ [△]	3.1m級	台	1
			ロードローラ	マカダム(10~12 t)	〃	1
		タイヤローラ	8~20 t	〃	1	
路肩施工	1.4m ≤ b ≤ 3.0m	路盤工	振動ローラ	搭乗式コンパインド [△] 型 (3~4 t)	〃	1
歩道施工	1.4m ≤ b	路盤工	振動ローラ	搭乗式コンパインド [△] 型 (3~4 t)	〃	1
車道・歩道	b < 1.4m	路盤工	タンバ [△]	60~80kg	〃	1

備考 施工幅区分およびb < 1.4mのタンバ施工歩掛を県独自に制定した。

2-2 アスファルト舗装工

(3) 施工歩掛 (機械施工) <国必携P-761>

4) 使用材料

アスファルト混合物の締固め後の密度 <県独自歩掛>

(t/m³)

区分	車道	路肩・歩道	アスカーブ
アスファルト混合物			
粗粒度及び密粒度アスコン	2.35 (2.30)	2.20 (2.15)	—
細粒度アスコン	2.30	2.15	2.10
開粒度アスコン	1.94	—	—
瀝青安定処理路盤材	2.35	—	—

備考 密粒度アスコン及び細粒度アスコンには、それぞれギャップアスコンを含む。

※ 密粒度アスファルト混合物が裸書きの密度を下回る材料であった場合は、() 書きを適用する。

2-3 コンクリート路面工

(4) 基礎工 <県独自歩掛> <国必携P-749, 759><組合せ歩掛>

(100m²当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
切 込 砕 石	40mm以下	m ³	15.90	厚さ15cm, 再生材使用, 材料ロス6%
モータグレーダ	3.1m級	h	0.13	100m ² /792(m ² /h) (作業量)
タイヤローラ	8~20 t	日	0.09	100m ² /1, 110m ² (日当たり施工量)
普通作業員		人	0.13	補助労力 (路盤工敷均し)

(5) 基礎工 人力歩掛路盤工 <国必携P-749>

(100m²当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
切 込 砕 石	40mm以下	m ³	5.00	厚さ5cm, 再生材使用
普通作業員		人	0.55	0.11×5 m ³

第5 その他 (県独自歩掛)

② 組合わせガッター布設

(10m当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量		備 考
			1.0m	2.0m	
組合わせガッター		本	9.95	4.98	
世話役		人	0.15	0.14	
ブロック工		人	0.31	0.14	
普通作業員		人	0.31	0.29	
バックホウ運転	BH 0.35m ³ , 2.9t吊	日	—	0.14	クレーン装置付
諸雑費		%	13.00	9.00	
生コンクリート人力打設	21N, 小型構造物	m ²	0.35	0.35	
型枠工	小型構造物	m ²	1.35	1.35	
基礎砕石工	厚さ10cm	m ²	5.00	5.00	
鉄筋加工・組立	D10	kg	11.20	11.20	
合計					
単位当たり					

備考1 本歩掛は、敷モルタル、目地モルタルの施工も含む。

2 バックホウ (クレーン機能付) は、賃料とする。

3 諸雑費は、敷モルタル、目地モルタル、器具、補助機械等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

4 上表は、材料の現場内小運搬も含む。

④ 木柵工 (林道 H=0.5m) <県独自歩掛>

(100m当たり)

名 称	規 格 分 類	数 量	単 位
杭 木	長さ1.5m, 径8.0cm 丸棒加工品	150.00	本
背 丸 太	長さ3.0m, 径8.0cm 丸棒加工品	233.00	本
ナマシ鉄線類	#10	30.00	kg
普通作業員	杭打ち	4.65	人
普通作業員	組立緊結仕上一切	4.00	人

⑦ 木製パネル工 <県独自歩掛>

木製パネル布設 (2.0m×1.5m)

(10枚当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
木 製 パ ネ ル	2.0m×1.5m	枚	10.00	見積
普 通 作 業 員		人	0.44	
型 枠		m ²	4.80	
コ ン ク リ ー ト		m ³	0.98	
基 面 整 正		m ²	2.20	
吸 出 防 止 材		m ²	30.00	
目 地 材 加 工 据 付		m ²	0.10	
ア ン カ ー ピ ン	13×400mm	本	20.00	
ト ラ ッ ク ク レ ー ン 賃 料	油圧式4.8~4.9 t吊	日	0.25	
計				

備考1 森林土木木製構造物施工マニュアルを参照。

2 上表は、舗装厚11cmの場合の数量である。

⑧ 丸太筋工 <県独自歩掛>

(10m当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
小 丸 太	8cm×2.0m	本	5.00	丸棒加工品
ア ン カ ー	13×600mm	本	10.00	
普 通 作 業 員		人	0.20	
計				

備考 木造林道構造物標準マニュアルの丸太筋工(6)を参照。

⑨ 根株破碎工 <県独自歩掛>

(10m³当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
根 株 破 碎 機 運 転	バックホウ 0.6m ³	h	1.54	
計				

備考 数量(1.54h)は、平成16年度の歩掛調査の結果による。

機 械 運 転 単 価 表

(1時間当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
特 殊 運 転 手		人	0.16	
軽 油		L	18.20	
機 械 損 料	バックホウ 0.6m ³	h	1.00	排出ガス対策型
根 株 破 碎 機 賃 料	根株破碎アタッチメント	日	0.16	見積
計				

賃料：運転時間(3欄)÷運転日数(4欄)=810÷130=6.2h/日

1日÷6.2時間=0.16日